

武藏国分寺遺跡調査会年報II

昭和51～53年度 寺地・僧寺々域確認調査

第2分冊

1982年3月

武藏国分寺遺跡調査会
国分寺市教育委員会

例　　言

1. 本書は、東京都国分寺市西元町に所在する武藏国分寺跡の寺域確認調査に係る成果をまとめた年報Ⅰの第2分冊である。第1分冊は、昭和57年度に刊行の予定である。なお、既刊の「武藏国分寺遺跡調査会年報1974」を年報Ⅰ、本書を年報Ⅱとした。
2. 本書には、昭和49年度より国庫補助事業として実施している寺域確認調査の内、昭和51～53年度の僧寺々域および寺地に係る資料を掲載したが、第28次（僧寺々域西辺）調査と第29次（僧寺々域西南隅）調査の資料は、第1分冊に掲載の予定である。
3. 本書は、別表1 検出遺構一覧、別表出土遺物一覧、図面、写真図版からなり、各々寺地・僧寺々域の順に編集した。
4. 本書の執筆・編集は、遺構は平田貴正、遺物は高橋和恵がそれぞれ担当し、西脇俊郎、有吉重蔵がこれをたすけた。

凡　　例

1. 遺構

①規模は確認面における最大値と最小値を原則とした。（ ）は全容を把握していないもので現存値である。

②中軸線からの距離

建物跡　西南隅柱穴（1-1）まで計測

住居跡　平面形の中心まで計測

溝　跡　両端の中心まで計測し、またコーナー部分は両溝跡底面中心の接点を計測した。

③住居跡の主軸方向は、磁北からの傾斜角度を計測した。

④スクリーントーンの指示は次のとおりである。

平面図	①	焼土・焼け面	②	カマド粘土
	③	硬質面		
断面図	④	焼土	⑤	カマド粘土
	⑥	硬質土	⑦	茶褐色土・ローム土

⑤平面図表示の数字は、発掘基準線中心点からの距離を表わす。発掘基準中心点と僧寺金堂中心点の位置関係は、前者の南北基準線上の中心点南26.276mに後者がある。僧寺中軸線の方位は発掘南北基準線と一致し、真北から7°08'03"、磁北から0°38'03" それぞれ西偏する。

⑥断面表示の数字は水糸レベルで、海拔高を示す。

⑦縮尺は次のとおり統一した。

遺構配置図	1/250	住居跡・土坑	1/50
溝跡平面図	1/100	建物跡	1/100
溝跡断面図	1/50	カマド	1/25

2. 遺物

①各遺物共通

イ. スクリーントーンの指示は次のとおりである。

⑧		須恵器・土師器	⑨		黒色処理土師器
⑩		灰釉陶器（断面）	⑪		緑釉陶器
⑫		灰釉陶器（施釉部分）	⑬		墨書
⑭		硯の研磨部分	⑮		朱墨書

ロ. 縮尺は、実測図においては鉄製品を1/2、土器・石製品を1/3、瓦類を1/4、写真においては実大・1/2・1/3・1/4の何れかに統一してある。

ハ. 写真図版は図面中の番号と対照した。例えば、「18-3」とあれば、「図面18-3」のことを指す。

ニ. 法量（寸法）数值 ゴジック体は完数値・復原数値、明朝体は残存数値を表わし、単位はcmである。

②土器

イ. 上より順に口径・器高・底径を表わす。

ロ. 土：土師器、須：須恵器、灰：灰釉陶器、緑：緑釉陶器

このうち須恵器壺・塊は還元焰焼成のものを須A、酸化焰焼成のものを須Bとした。

③瓦

鏡瓦

イ. 内区文様および弁数 S: 素弁、T: 单弁、O: 特異文

弁数はゴシック体は完弁数・復原弁数、明朝体は残存弁数を表わす。

ロ. 内区文様 以下の組合せによる。ただし内外縁の区別のないものについては外縁欄に記入した。

形態 A 内外縁の区別のあるもの 内・外縁の文様 a 素文

B 内外縁の区別のないもの b 珠文

c その他

字瓦

イ. 内区文様 G: 重弧文、KK: 均正唐草文、HK: 偏行唐草文、H: ヘラ書き文、T: 竹管文、

K: 格子文（ヘラ書きは除く）、J: 線目文、O: その他

ロ. 上・下外区、協区文様 a 素文、b 珠文、c 長円珠文、d 圆線文、e 鋸齒文、f 凸線文、g その他

ハ. 額の形態 以下の組合せにより記入

E 直線顎

- a 凸面を整形するもの
- b 瓦当部と女瓦部境のみ整形するもの
- c 無整形のもの

F 段顎

- F₁ 瓦当凸面と凹面が平行するもの
- F₂ F₁ 以外のもの
 - a 瓦当凸面および瓦当裏面を整形するもの
 - b 瓦当凸面のみ整形するもの
 - c 瓦当裏面のみ整形するもの
 - d 無整形のもの

G 曲線顎

- G₁ 瓦当凸面が内傾しながら女瓦凸面に移行するもの
- G₂ 瓦当凸面がやや直線的に内傾しながら女瓦凸面に移行するもの
 - a 瓦当凸面のみ整形するもの
 - b 瓦当部と女瓦境部分のみ整形するもの
 - c 無整形のもの

男瓦・女瓦

- イ. 布日本数 3cm四方内の側端縁に平行する糸数と狭・広端縁に平行する糸数を表わす。
- ロ. 繩叩き日本数 3cm四方内の繩数を表わす。
- ハ. 繩の燃り L: 繩圧痕が右上り左下りの傾斜をなすもの
R: 繩圧痕が左上り右下りの傾斜をなすもの
- ニ. 黏土板合せ目 佐原真氏の「平瓦桶巻き作り」での分類S・Zによる。
- ホ. 布合せ目 黏土板合せ目の分類S・Zに準ずる。
 - a 布末端をまつらないもの
 - b 布末端をまつるもの
- ハ. 叩き締めの円弧 A: 叩き締めの円弧が一方向のもの
B: 叩き締めの円弧が「八」字状をなすもの

第 2 分 冊 目 次

例 言

凡 例

別 表 目 次

別表 1	検出遺構一覧	1
別表 2	出土遺物一覧	11

図 面 目 次

図面 1	第 41 次調査 遺構配置図, S B 42 据立柱建物跡, S K 184 土坑実測図	37
図面 2	第 42 次調査 遺構配置図, S D 42 溝跡実測図	38
図面 3	第 42 次調査 S I 136 住居跡, S K 222 土坑実測図	39
図面 4	第 48 次調査 遺構配置図, S D 42 + 50 溝跡, S K 225 土坑実測図	40
図面 5	第 48 次調査 S D 45 + 46 溝跡実測図	41
図面 6	第 48 次調査 S I 135 住居跡, S K 206 + 207 + 219 + 220 土坑実測図	42
図面 7	第 44 次調査 遺構配置図, S D 53 + 54 + 56 溝跡実測図	43
図面 8	第 44 次調査 S D 17 + 55 溝跡実測図	44
図面 9	第 44 次調査 S D 49 烧跡実測図	45
図面 10	第 50 次調査 遺構配置図, S D 18 溝跡実測図	46
図面 11	第 78 次調査 遺構配置図, S D 17 溝跡実測図	47
図面 12	第 31 + 32 次調査 遺構配置図, S D 23 溝跡, S X 3 実測図	48
図面 13	第 43 次調査 遺構配置図, S D 23 + 63 溝跡実測図	49
図面 14	第 33 次調査 A 地区 遺構配置図, S D 23 溝跡, S X 3 実測図	50
図面 15	第 33 次調査 B 地区 遺構配置図, S D 23 溝跡, S S 20 集石, S K 170 土坑実測図	51
図面 16	第 30 次調査 遺構配置図, S D 23 溝跡, S X 3 実測図	52
図面 17	第 31 + 32 + 41 次調査 出土遺物	53
図面 18	第 42 次調査 S I 136 住居跡, 表土出土遺物	54
図面 19	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	55
図面 20	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	56
図面 21	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	57
図面 22	第 42 次調査 S I 136 住居跡出土遺物	58

図面 23	第 48 次調査 SD 42・46 溝跡, SI 135 住居跡出土遺物	59
図面 24	第 48 次調査 SD 45・46 溝跡, 表土出土遺物	60
図面 25	第 48 次調査 表土出土遺物	61
図面 26	第 44 次調査 SD 17・46 溝跡, P 7・15・60, 表土出土遺物	62
図面 27	第 33 次調査 A・B 地区 SX 3, 表土 出土遺物	63
図面 28	第 33 次調査 A 地区表土 出土遺物	64
図面 29	第 33 次調査 A 地区表土 出土遺物	65
図面 30	第 33 次調査 A 地区表土 出土遺物	66
図面 31	第 33 次調査 A 地区表土 出土遺物	67
図面 32	第 33 次調査 A 地区表土 出土遺物	68
図面 33	第 33 次調査 A 地区表土 出土遺物	69
図面 34	第 33 次調査 A・B 地区 表土出土遺物	70
図面 35	第 30 次調査 SD 23 溝跡出土遺物	71
図面 36	第 30 次調査 SD 23 溝跡, 表土出土遺物	72

図 版 目 次

図版 1	第 41 次調査	S B 42 振立柱建物跡全景(北から) SK 184 土坑全景(西から)
図版 2	第 42 次調査 A 地区	SD 42 溝跡全景(東から) SD 42 溝跡土層断面 B～B'(西から)
図版 3	第 42 次調査 B 地区	SI 136 住居跡全景(西から) SI 136 カマド遺物出土状態(西から)
図版 4	第 42 次調査 B 地区	SD 42 溝跡全景(北から) SD 42 溝跡土層断面 D～D'(西から)
図版 5	第 48 次調査	SI 135 住居跡全景(西から) SD 42・45・46・50 溝跡, SK 206・207 土坑全景(北から)
図版 6	第 48 次調査	SD 42 溝跡, SK 206 土坑全景(西から) SD 42 溝跡土層断面 A～A'(東から)
図版 7	第 48 次調査	SD 45・46・50 溝跡, SK 219・225 土坑全景(南から) SK 220 土坑全景(東から)
図版 8	第 44 次調査	SD 17 溝跡全景(西から) SD 17 溝跡土層断面 B～B'(西から)
図版 9	第 44 次調査	SD 49 溝跡全景(西から)

	S D 49 溝跡土層断面D～D'（東から）
図版 10 第 44 次調査	S D 49 + 55 + 56 溝跡全景（東から）
	S D 49 溝跡土層断面B～B'（北から）
図版 11 第 44 次調査	S D 54 + 55 溝跡全景（南から）
	S D 54 溝跡土層断面A～A'（南から）
図版 12 第 50 次調査	S D 18 溝跡全景（南から）
	S D 18 溝跡全景（東から）
図版 13 第 50 次調査	S D 18 溝跡土層断面A～A'（西から）
	S D 18 溝跡土層断面B～B'（西から）
	S D 18 溝跡土層断面C～C'（東から）
図版 14 第 78 次調査	S D 17 溝跡全景（東から）
	S D 17 溝跡土層断面A～A'（東から）
図版 15 第 31 次調査	S D 23 溝跡全景（西から）
	S D 23 溝跡土層断面A～A'（南から）
図版 16 第 43 次調査 A 地区	S D 23 + 63 溝跡全景（南から）
	S D 23 + 63 溝跡全景（東から）
図版 17 第 43 次調査 B 地区	S D 63 溝跡全景（東から）
	S D 63 溝跡土層断面C～C'（西から）
図版 18 第 32 次調査	S D 23 溝跡全景（東から）
	S D 23 溝跡土層断面A～A'（南から）
図版 19 第 33 次調査 A 地区	S D 23 溝跡全景（北から）
	S D 23 溝跡土層断面A～A'（東から）
図版 20 第 33 次調査 B 地区	S D 23 溝跡全景（北から）
	S D 23 溝跡土層断面A～A'（東から）
図版 21 第 33 次調査 A + B 地区	A 地区 S X 3 全景（北から）
	B 地区 S S 20 磚石全景（東から）
図版 22 第 30 次調査	S D 23 溝跡全景（北から）
	S D 23 溝跡土層断面B～B'（西から）
図版 23 第 31 + 32 + 41 次調査出土遺物	
図版 24 第 42 次調査出土遺物	
図版 25 第 42 次調査出土遺物	
図版 26 第 42 次調査出土遺物	
図版 27 第 42 次調査出土遺物	
図版 28 第 48 次調査出土遺物	
図版 29 第 48 次調査出土遺物	
図版 30 第 44 次調査出土遺物	

- 図版 31 第 33 次調査出土遺物
図版 32 第 33 次調査出土遺物
図版 33 第 33 次調査出土遺物
図版 34 第 33 次調査出土遺物
図版 35 第 33 次調査出土遺物
図版 36 第 33 次調査出土遺物
図版 37 第 30 次調査出土遺物
図版 38 第 30 次調査出土遺物
図版 39 第 48 次調査墨書き土器集成
図版 40 模背・押印文字集成
図版 41 ヘラ書き文字集成

別 表 1

検出遺構一覧

調査区	図面版	遺構番号	内 容				
第41次調査	図面1 図版1	S B 4 2	位 方 規 格 柱 間 寸 法 柱穴の形 状 柱穴の深さ 備 考	置 向 模 様 桁行2間4.5m×梁行2間3.3m。 桁行ほぼ2.2m等間。梁行不同。 長方形、梢円形。 20~42cm。 柱穴1~3の規模が小さく、形状も円形に近い。 全ての柱穴に柱痕跡を確認。	N 219.20m, W 303.40m。 東西棟。		
	図面1 図版1	S K 18 4	形 規 備 考	不整齊円形。 長軸1.73m×短軸1.0m、深さ25cm。 覆土下層より炭化物出土。	底軸0.7~1.1m。 18~30cm。		
第42次調査 A地区	図面2 図版2	S D 4 2	位 方 底 面 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 227.2~227.8m, W 141.1~147.0m。 1.1~1.2m。 0.7~1.1m。 18~30cm。 逆台形。 なL。 底面をロームブロックを主体とする土で埋めている。 寺地北辺溝	端 幅 幅 0.7~1.1m。 18~30cm。		
	図面3 図版3	S I 13 6	位 方 平面形・規格 カマド 壁 ピッタ 周 床 備 考	N 251.5m, W 168.5m。 N-8°-E。 長方形。南北(4.1)m×東西3.4m。 東壁中央より南に位置する。 壁高は45~54cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 5個。不整形。深さ15~25cm。 カマド付近を縫き全周するとと思われる。 張り床。	端 幅 幅 0.6~0.8m。 23~35cm。		
第42次調査 B地区	図面2 図版4	S D 4 2	位 方 底 面 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 224.1~224.4m, W 169.0~171.0m。 1.0~1.3m。 0.6~0.8m。 23~35cm。 逆台形。 なし。 底面をロームブロックを主体とする土で人為的に埋めている。 寺地北辺溝	端 幅 幅 0.6~0.8m。 23~35cm。		

調査地	図面 図版	遺構番号	内 容		
第42次調査 B地区	図面3	SK222	形規 編	状模 考	ほぼ円形。 長軸0.96m×短軸1.05m 深さ7~11cm。
第48次調査	図面6 図版5	S1135	位 方 平面形・規模 カマフ 壁 ビッ 周 溝 床 備	置 向 方 不明。 壁高は46~65cm。ほぼ垂直に立ち上がる。 3個。円形ないし、梢円形。深さ25~68cm。 調査区内では全周する。 張り床。	N 216m, W 192.7m。 N-3°-E。 方形? 南北(1.8)×東西5.1m。
	図面4 図版5・6	SD42	位 上 底 深 形 硬質面の有無 備	置 端幅 面幅 さ 態 なし。 SD46・50溝跡よりも古い。 寺地北辺溝	N 221.0~221.8m, W 190.3~203.0m。 1.1~1.5m。 0.5~1.1m。 16~42cm。 逆台形。 なし。 寺地北辺溝
	図面5 図版5・7	SD45	位 上 底 深 形 硬質面の有無 備	置 端幅 面幅 さ 態 なし。 SK206土坑よりも新しい。	N 215.1~232.0m, W 198.6~200.6m。 0.6~1.05m。 0.35~0.8m。 8~21cm。 U字状。 なし。 SK206土坑よりも新しい。
	図面5 図版5・7	SD46	位 上 底 深 形 硬質面の有無 備	置 端幅 面幅 さ 態 あり。 寺地の西限を画する遺構か? SD42溝跡よりも新しい。	N 217.4~231.4m, W 205~206m。 (4.4)m。 0.7~1.15m。 28~61cm。 U字状。 あり。 寺地の西限を画する遺構か? SD42溝跡よりも新しい。

調査地	国面版	遺構番号	内 容					
第4.8次調査	国面4 国版5・7	SD 50	位 上 端 幅 底 面 幅 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	置 0.3 ~ 0.5 m. 0.2 ~ 0.55 m. 25 ~ 63 cm. U字状。 なし。 連續性をもたず、土坑状を呈する。 SD 42 溝跡・SK 225 土坑よりも新しい。	N 222.4 ~ 232.3 m, W 195.8 ~ 197.7 m.			
	国面6 国版5・6	SK 206	形 規 備	状 模 考	長方形。 長軸 3.6 m × 短軸 1.1 m, 深さ 15 ~ 21 cm. SD 45 溝跡よりも古い。			
	国面6 国版5	SK 207	形 規 備	状 模 考	長楕円形。 南北 2.4 m × 東西 0.8 m, 深さ 46 ~ 71 cm. ピットを有する。SD 50 溝跡の延長と考えられる。			
	国面6 国版7	SK 219	形 規 備	状 模 考	ほぼ円形。 直径 0.95 m, 深さ 8 ~ 13 cm.			
	国面6 国版7	SK 220	形 規 備	状 模 考	長方形。 南北 2.1 m × 東西 0.7 m, 深さ 83 ~ 90 cm.			
	国面4 国版7	SK 225	形 規 備	状 模 考	長方形。 長軸 2.5 m × 短軸 1.0 m, 深さ 50 ~ 60 cm. 2時期の重複が認められる。SD 50 溝跡よりも古い。			
第4.4次調査	国面8 国版8	SD 17	位 上 端 幅 底 面 幅 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	置 1.75 ~ 2.4 m. 0.6 ~ 0.9 m. 68 ~ 90 cm. 逆台形。 あり(断面図1層)。 底面をロームブロックを主体とする土で埋めている。 SD 54 溝跡よりも古い。 寺地南辺北溝	S 306.0 ~ 306.3 m, W 3.6 ~ 10.3 m.			

調査区	図面版	遺構番号	内 容	
第44次調査	図面9 図版9・10	SD 4.9	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 度 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	S 296.6～316.8 m, W 3.5～10.2 m - 0 - E 4.5～4.8 m。 1.7～2.4 m。 0.45～0.6 m。 60～73 cm。 V字状。 なし。 2時期の重複が認められる。SD 55 溝跡よりも古い。 寺地南辺南隣
	図面7	SD 5.3	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 度 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	S 307.0～314.6 m, W 4.0～7.5 m。 0.6～0.9 m。 0.6～0.7 m。 2～11 cm。 逆台形。 なし。 近世の遺構である。
	図面7 図版11	SD 5.4	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 度 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	S 296.6～305.3 m, W 9.1～10.0 m。 0.9～1.2 m。 0.4～0.7 m。 6～30 cm。 U字状。 なし。 SD 55 溝跡よりも古い。
	図面8 図版10・11	SD 5.5	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 度 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	S 298.4 m, W 10.4 m - 0 - E 8.9 m。 0.8～1.2 m。 0.3～0.45 m。 15～30 cm。 U字状。 なし。 SD 54 溝跡よりも新しい。
	図面7 図版10	SD 5.6	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 度 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	S 296.7～300.2 m, E 8.0 m。 0.8～1.1 m。 0.65～0.8 m。 2～11 cm。 逆台形。 なし。 SD 55 溝跡よりも古い。

調査区	図面版	遺構番号	内 容	
第60次調査	図面10 図版12-13	SD18	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 態 形 態 硬質面の有無 備 考	S 364.0 ~ 367.8 m., E 329 ~ 347.9 m. 0.8 ~ 1.3 m. 0.3 ~ 0.5 m. 30 ~ 54 cm. U字状。 なし。 寺地南辺南溝
第78次調査	図面11 図版14	SD17	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 態 形 態 硬質面の有無 備 考	S 305.5 m., E 241.5 ~ 251.4 m. (0.7 ~ 1.1) m. (0.2 ~ 0.5) m. (48 ~ 60) cm. 逆台形? なし。 寺地南辺北溝
	図面11	SD82	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 態 形 態 硬質面の有無 備 考	S 310.7 m., E 241.4 ~ 251.4 m. 1.6 ~ 2.5 m. 0.4 ~ 0.6 m. 48 ~ 59 cm. U字状。 なし。 近世の構跡である。

調査地	図面 版	遺構 番号	内 容			
第31次調査	図面12 図版15	SD23	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 形 性 硬質面の有無 備 考	S 155.6 m, E 245.1 m. 2.4~2.7 m. 1.0~2.1 m. 59~87 cm. 逆台形。 なし。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺ヶ城東南隅溝		
第43次調査	図面13 図版16	SD23	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 形 性 硬質面の有無 備 考	N 270 m, E 277.8 m. 2.3~2.5 m. 0.7~1.0 m. 75~95 cm. 逆台形。 なし。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺ヶ城東北隅溝		
A地区	図面13 図版16	SD63	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 形 性 硬質面の有無 備 考	N 271.7 m, E 274.8~284.4 m. 1.9~(2.1) m. 1.0~1.2 m. 57~128 cm. 逆台形。 なし。 寺地北辺溝		
第43次調査 B地区	図面13 図版17	SD63	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 形 性 硬質面の有無 備 考	N 273.6 m, E 331.6~334.3 m. 1.8~2.3 m. 0.9~1.1 m. 53~76 cm. U字状。 なし。 寺地北辺溝		
第32次調査	図面12 図版18	SD23	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 底 形 性 硬質面の有無 備 考	N 192.3~197 m, E 273.5 m. 1.7~2.3 m. 0.6~1.1 m. 98~114 cm. 逆台形。 あり(SX8)。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺ヶ城東辺溝		

調査地区	図面番版	遺構番号	内 容			
第33次調査 A地区	図面14 図版19・21	SD23	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 246.5 ~ 248 m, E 0.5 ~ 12 m. 2.7 ~ 3.1 m. 1.2 ~ 1.3 m. 90 ~ 115 cm. U字状。 あり(S X 3)。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺々城北辺溝		
第33次調査 B地区	図面15 図版20	SD23	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 241.7 m, W 31.0 ~ 32.9 m. (1.7 ~ 2.0)m. 0.6 ~ 0.8 m. 59 ~ 70 cm. 逆台形。 なし。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺々城北辺溝		
	図面15 図版21	SK170	形 態 規 則 備 考	不整梢円形。 長軸0.9 m × 短軸0.8 m, 深さ24 cm。 縄文期。		
	図面15 図版21	SS20	形 態 規 則 備 考	梢円形。 長軸1.3 m × 短軸1.0 m。 35個の縁のうち、大半が焼けている。石器類7点。		
第30次調査	図面16 図版22	SD23	位 置 上 端 幅 底 面 幅 深 さ 形 態 硬質面の有無 備 考	N 141 m, E 54.3 ~ 60.3 m. (2.9 ~ 3.0)m. 1.3 ~ 1.55 m. (100 ~ 118)cm. 逆台形。 あり(S X 3)。 底面は二段掘りで、ロームブロックを主体とする土で人為的に埋められている。 僧寺々城南辺溝		

別 表 2

出土遺物一覧

第41次調査出土遺物

縦穴住居跡・表土　土器一覧

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
17-3 図版23	縦一塊	縦穴 住居跡	1.3 7.3	断面半月形の高台を有する。内面に花文を施す。	ロクロ整形。底部糸切り後周縁を回転ヘラ削り。内面に花文刻み、施釉を行なう。付高台部は丁寧なナヂ。	底部破片。釉は黄緑色。
17-4	旗A-环	表土	1.7 6.5	上げ底の底部より内側気味に立ち上がる。内面を鏡に転用。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下端を横ナヂ。	底部破片。転用鏡。海綿骨針を含む。
17-5	旗一塊	縦穴 住居跡		表体部破片を鏡に転用。	平行叩き、内面ナヂ。	表体部破片。転用鏡。

SK 184 土坑 女瓦 一覧

図面 図版	出土 位置	寸法				成・整形の特徴						備考	
						凹面			凸面				
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴		
17-7 図版23	覆土			2.7	17.9	3.1	粘土板		部分的ヘラナヂ。右側端縁を幅広くヘラ削り。	織目し	無調整。	広端・右側端指ナヂ。	凹面粘土板合せ目。広端面ワラ状工具。黒色スコリア状物質含む。

第42次調査出土遺物

SI 136 住居跡 土器一覧

図面 版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
18-1 図版24	須A-环	覆土	11.8 3.2 6.2	やや上げ底の底部より体部にかけて内凹し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口縁部外面を横ナデ。	1/2 弱残存。
18-2 図版24	須A-环	覆土	11.8 3.4 6.1	やや上げ底の底部より体部にかけて内凹し、口縁部は僅かに外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。体部及び口縁部外面を横ナデ。	一部欠失。一部自然釉付着。
18-3 図版24	須A-环	覆土	12.1 3.3 6.8	やや上げ底の底部より体部にかけて内凹し、口縁部はやや外反する。	ロクロ整形。体部及び口縁部外面を横ナデ。	1/2 強残存。
18-4	須A-环	覆土	12.8 3.6 6.0	底部より体部にかけて内凹し、口縁部は外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口縁部外面を横ナデ。	1/3 残存。火摩有り。海綿骨針を含む。
18-5	須A-环	覆土	13.0 3.2 7.1	薄い底部より口縁部にかけて直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部外面を横ナデ。	1/3 残存。一部スス付着。
18-6	須A-环	覆土	13.2 5.0 4.9	底部より体部にかけて内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口縁部外面を横ナデ。	1/4 残存。内面スス付着。黒色スコリア状物質を含む。
18-7 図版24	須A-环	覆土	11.5 3.5 5.7	やや上げ底の底部より口縁部にかけて僅かに内凹する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下端及び口縁部横ナデ。	1/2 残存。
18-8	須A-环	覆土	12.6 3.7 6.2	底部より体部下半は直線的に外上方へ外傾し、体部上半は内凹し、口縁部はやや外反する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。体部下半は横ナデ。	1/2 残存。
18-9	須A-环	覆土	11.8 3.6 6.1	底部より体部にかけて内凹し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部外面を横ナデ。	1/3 残存。
18-10 図版24	須A-环	覆土	12.2 4.25 6.4	底部から体部下端にかけて直線的に立ち上り、体部はやや内凹し、口縁部は外反する。底部内外面に回転糸切り痕。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。(底部円柱造り)	一部欠失。黒色スコリア状物質含む。
18-11 図版24	土-环	覆土	11.9 3.0 5.4	底部から体部にかけて直線的に外上方へ外傾し、口縁部は外反する。	底部及び体部を手持ちヘラ削り。口縁部から内面にかけて横ナデ。体部指痕有り。	1/3 残存。赤色スコリア状物質を含む。
18-12	土-环	覆土	11.7 3.6 4.4	底部から体部下半にかけて内凹し、口縁部は外反する。	底部及び体部を手持ちヘラ削り。体部下半及び口縁部から内面にかけて横ナデ。	一部欠失。
18-13	須A-塊	覆土	15.8 7.2	体部から口縁部にかけて僅かに内凹する。口縁部は断面台形を呈する。	ロクロ整形。体部下端をヘラ削り。口縁部外面横ナデ。	1/5 残存。外面自然釉付着。海綿骨針を含む。
18-14	須A-塊	覆土	18.4 5.2	体部は僅かに内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	ロクロ整形。口縁部外面横ナデ。	1/4 残存。面輪骨針を含む。

國面 國版	種別 器形	出土 位位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
18-15	灰-淨瓶	覆土	2.65		ロクロ整形。丁寧なナデを行なう。	注口破片。釉は淡黄緑色。一部青白色。
18-16 國版24	須-蓋	覆土	15.8 1.7	体部は直線気味に外下方へ開き、口唇部は外彎する。	ロクロ整形。	1/4 残存。曲線骨針を含む。
18-17 國版24	灰-蓋	覆土	15.6 3.6	板やかに外傾する天井部より段をなして直線気味に外下方へ開く。	ロクロ整形。	1/8 残存。釉は赤茶～濃茶色。
18-18	灰-壺	覆土	17.7 4.8 8.3	底部から体部にかけてやや内傾し、口縁部は外反する。	ロクロ整形。底部回転ヘラ削り後付高台。体部下端は回転ヘラ削り。底部・高台部を横ナデ。	1/5 残存。釉は灰緑色。
18-19	土-壺	覆土	11.6 3.4	ヨ字状口縁を呈する。	口縁部内外面横ナデ。肩部ヘラ削り。	口縁部破片。
18-24 國版24	土-壺	覆土	12.5 5.7	ヨ字状に近い口頭部。肩部から胴部にかけて緩やかに開く。	口頭部横ナデ。肩部は横位ヘラ削り。胴部内面を横位のヘラナデ。	口頭部1/3 残存。
18-25	土-壺	覆土	10.6 6.7	小形壺。頭部は肩部より内傾し、口縁部は外反する。	口頭部横ナデ。肩部・胴部上半は横位のヘラ削り。内面横位のナデ。	口頭部破片。
18-26	土-壺	覆土	20.8 4.0	ヨ字状に近い口頭部。肩部は緩やかに開く。	口頭部横ナデ。肩部横位のヘラ削り。内面は横位のナデ。	口頭部破片。
18-27	土-壺	覆土	24.5 5.3	口縁部は外反する。全体的に器壁の剥落が著しい。	口頭部横ナデ。肩部横位のヘラ削り。	口頭部破片。

鎧瓦一覧

國面 國版	出土 位位置	直径	内区				外区				全長	備考			
			中房 径	蓮子数	弁区 径	弁幅	弁数	幅	内縁		外縁				
									幅	文様	幅	高	文様		
19-2 國版25	覆土					1.4	T1	2.7	0.9	A a	1.8	0.8	A a	7.1	黒色スコリア状物質含む。
19-3 國版24	覆土	6.8				3.4	T2	2.7	0.9	A a	1.8	0.8	A a	5.0	瓦当裏面に繩目印記。少量の赤色スコリア状物質含む。
19-4 國版24	覆土					T									瓦当裏面に繩目印記。
19-5 國版24	覆土	20.3	6.5	1+4	12.0	3.8	T3	2.6	1.0	A a	1.6	0.9	A a	2.6	

字瓦一覧

國面 國版	出土 位置	寸法			内区		外区			脇区		文様 深さ	全長	備考			
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上	下	幅	文様						
								厚さ	文様								
19-1 國版24	覆土	9.1	7.1		6.4	4.4	HK	1.5	a			6.4	a	0.5	12.2 類G ₁ -a		

男瓦一覧

國面 國版	出土 位置	寸法			成・整形の特徴						備考	
		凹面			凸面			端面				
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徵	叩き	特徵	特徵	
20-1 國版24	カマド側面			17.1	1.4	粘土組	22×17	左右両側端縁を幅狭くヘラ削り。		板状工具で回転ナデ。左右側端縁を幅広くヘラ削り。	左側端ヘラ削り。	凹面判読不明朱墨書き及び布合せ目Zb。黒色スコリア状物質含む。
20-2 國版25	カマド側面	11.6	24.8	38.8	1.7	粘土組	30×30	広端の一部ヘラ削り。	繩目L	全面縱方向に指ナデし、広端は横方向に指ナデ。	全面をヘラ削り。	凹面判読不明朱墨書き及び布合せ目Sb。多量の黒色スコリア状物質を含む。
20-3 國版25	覆土	10.7	20.5	39.1	1.4		27×30	広端縁幅広く、左右両側端縁は幅狭くヘラ削り。		全面板状工具で回転ナデ。部分的縱方向にナデ。広端縁指ナデ。	狭端ヘラ削り。左側端糸切り後ヘラ削り。	凹面布合せ目Za。錐瓦(瓦当部欠失)瓦当部分指ナデ。
21-1 國版26	覆土			19.0	13.7	2.0	粘土組	30×30	広端縁幅広く、左右両側端縁を幅狭くヘラ削り。	全面板状工具で回転ナデ。広端縁幅広くヘラ削り。	広端ヘラ削り。	凹面に2条の布合せ目(両方ともSa)
21-2 國版26	カマド側面			11.2	15.7	1.5	粘土組	27×30	広端幅広く、左右両側端縁を幅狭くヘラ削り。	全面板状工具で回転ナデ。左右両側端縁幅狭くヘラ削り。	狭端除く3端をヘラ削り。	凹面朱墨書き。広端兩隅切り。赤色スコリア状物質含む。
21-3 國版25	覆土			10.8	1.3		36×33	左右両側端縁を幅狭くヘラ削り。	板状工具で回転ナデ。左右両側端縁幅狭くヘラ削り。	左右側端を糸切り後無調整。	海綿骨針を含む。	
21-4 國版26	カマド側面			13.3	23.3	1.8	粘土組	30×27	左側端・広端縁を幅狭くヘラ削り。	全面板状工具で回転ナデ。右側端縁を幅狭くヘラ削り。	広端・右側端ヘラ削り。	広端隅切り。右側端面「入」ヘラ書き。凹面判読不明の朱墨書き。
21-5 國版26	覆土	5.0	12.0	40.4	1.2	粘土組	27×27	右側端を除く3端ヘラ削り。	繩目L	全面板状工具で回転ナデ。広端・左側端縁幅狭くヘラ削り。	狭端無調整。広端・左側端ヘラ削り。	広端隅切り。広端面繩目痕。赤色スコリア状物質含む。

女瓦一覧

19-6 國版26	覆土	14.2		22.8	2.7	粘土組	24×21	狭端・右側端縁を幅広くヘラ削り。	繩目J 9本	狭端・左側端縁の一部ヘラ削り。	狭端・右側端ヘラ削り。	凸面に布目痕有り。黒色スコリア状物質含む。
19-7 國版26	覆土	14.2		29.7	2.1	粘土板	24×27	縱方向ヘラ削り。狭端縁・右側端縁を幅広くヘラ削り。	繩目L	縦位のヘラナデ。	狭端・右側端ヘラ削り。	棒板圧痕。凹面粘土板合せ目S。海綿骨針含む。

圓面 圓版	出土 位位置	寸法			成形の特徴							備考	
					凹面			凸面		端面			
		狹端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徴	叩き	特徴	特徴		
19-8 圓版40	覆土			6.0	2.3	粘土板	20×21	狹端縁を幅狭くへラ削り。	正格子	無調整。	狹端へラ削り。	端面に「那」の押印。	
19-9	覆土	6.7		10.7	2.3	粘土板	21×25	狹端・右側端縁幅広くへラ削り。	斜格子	無調整。	狹端・右側端へラ削り。	狹端・右側端隅切り。黒色スコリア状物質含む。	
19-10	覆土		6.2	6.9	1.3	粘土板	27×30	狹端縁幅狭くへラ削り。	繩目L 10本	無調整。 左側端縁に端面の指ナデがおよぶ。	狹端・右側端指ナデ。	黒色スコリア状物質含む。	
19-11	覆土	5.1		11.5	1.6	粘土板		右側端縁幅狭くへラ削り。	繩目L	無調整。 左側端縁に端面の指ナデがおよぶ。	右側端指ナデ。		
22-1 圓版26	カマド 側面	26.5		23.8	2.3	粘土板		粗くへラナデ。 狹端・左側端へラ削り。	繩目L 8本	無調整。		凹面中央が剥落。赤色スコリア状物質含む。	
22-2 圓版27	覆土	27.0	15.6	37.7	3.4	粘土板	16×22	全側端縁を幅広くへラ削り。	繩目L	無調整。	左右側端指ナデ。	狹端を隅切り。 凸面に棒状痕。	
22-3 圓版27	覆土	25.5	28.3	37.2	2.2	粘土板	15×19	全側端縁を幅広くへラ削り。 叩き締めの円弧B。	繩目L 9本	全側端縁を幅狭くへラ削り。 全面指ナデ後へラ削り。		凸面に布目痕有り。黒色スコリア状物質含む。	

鉄製品一覧

圓面 圓版	種別	出土位置	寸法	備考
18-20	不明	覆土	長さ 幅 厚み 0.5 0.15	
18-21	不明	覆土	長さ 幅 厚み 3.3 1.0 0.15	円筒状を量する。
18-22	刀子	覆土	長さ 刃幅 峰厚 7.4 1.15 0.3	刃部の大半を欠失する。
18-23	釘	覆土	長さ 幅 5.1 0.5	

表土　土器一覧

國面 國版	種別 器形	出土位 置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
18-28 國版24	須-壺		7.8 5.9	底部から肩部下平にかけて内傾し、肩部から腰やかに内傾する。断面半月形の高台を有する。	ロクロ整形。底部から肩部まで回転ヘラ削り。底部・高台部横ナデ。	1/4残存。底部「X」のへつ書き有り。肩部自然袖付着。

第48次調査出土遺物

SD 42溝跡 土器一覧

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-1 図版28	須A-环	覆土	12.4 3.1 7.0	底盤から体部下半にかけてやや内凹し、体部から口縁部にかけて直線的に外上方に外傾する。	粘土紐巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り後周縁を回転へラ削り。口縁部内外面及び体部を横ナヂ。	完形。内面鏡に転用。黒色スコリア状物質を含む。

SD 45溝跡 男瓦一覧

図面 図版	出土 位置	寸法				成・整形の特徴						備考
		横端		広端	全長	厚さ	凹面		凸面		端面	
		素材	布目	特徴	叩き	特徴	網目	全面板状工具で 回転ナヂ。	左側端滑ナヂ。			
24-12	覆土			16.6	1.9	粘土紐 18×19 33×25	右側端縫幅広く へラ削り。					布合せ目Za。 少量の黒色スコ リア状物質含む。

SD 46溝跡 土器一覧

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-2 図版39	須A-环	覆土	— 2.4 7.4	底部より内凹して立ち上る。	ロクロ整形。底部回転糸切り。体部横ナヂ。	底盤破片。底部外面に「木」の墨書。赤色スコリア状物質含む。
23-3 図版28	須A-环	覆土	10.8 3.5 5.1	底部より口縁部にかけて内凹し、口縁部はやや外反する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面及び体部を横ナヂ。	1/2残存。一部自然剥離。
23-4 図版28	須A-环	覆土	12.3 3.5 5.4	厚手の底部より口縁部にかけて内凹する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面及び体部を横ナヂ。	1/2残存。スス付着。海綿骨針含む。
23-5	須A-环	覆土	11.7 3.4 6.7	体部は内凹し、口縁部は直線的に外上方に外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部を横ナヂ。	1/2残存。
23-6 図版28	須-蓋	覆土	20.1 4.4	偏平化した宝珠形のつまみを有する。天井部より口縁部にかけて内凹し、口縁部はやや外傾する。	ロクロ整形後外面天井部を回転へラ削り。外面を横ナヂ。	1/2残存。海綿骨針含む。
23-7 図版28	須-蓋	覆土	18.8 4.0	ぼたん状のつまみを有する。天井部より口縁部にかけて内凹し、口縁部は外傾する。	ロクロ整形。外面天井部回転糸切り後周縁を手持ちへラ削り。天井部を指ナヂ。内外面横ナヂ。	1/2残存。黒色スコリア状物質含む。
23-8	須-甕	覆土	21.0 4.3	口縁部大きく外傾する。	ロクロ整形。	口縁部破片。
23-9	須-甕	覆土	— 1.2 6.4		ロクロ整形。底部回転糸切り。	底部破片。転用根。

國面 國版	種別 器形	出土 位位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-10	灰一塊	覆土	1.5 9.3	断面半月形の高台を有する。	ロクロ整形。	底部破片。

女瓦一覧

國面 國版	出土 位位置	寸法				成・整形の特徴						備考
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徴	印き	特徴	端面	特徴
24-13 國版29	覆土		15.4	12.0	1.9			右側端縁へラ削り。	織目R	無調整。	広端・右側端縁 ナデ後へラ削り。	海綿骨針。黒色 スコリア状物質 含む。
24-14	覆土			15.5	1.8	粘土縼	19×17	右側端へラ削り。	織目L	無調整。	右側端へラ削り。	指頭痕有り。

S I 135 住居跡 土器一覧

國面 國版	種別 器形	出土 位位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-11 國版28	須B-坏	床面上	12.9 4.2 5.6	底部から体部にかけて直線的に外上方に外傾し、口縁部は肥厚して外反する。体部に強いしめがある。	ロクロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面及び体部下半を横ナデ。	完形。内外面にスス付器。赤色スコリア状物質を含む。
23-12 國版28 國版39	須A-皿	覆土	14.5 3.7 6.4	底部から体部にかけてやや内傾し、口縁部は肥厚して外反する。断面半月形の高台を有する。	粘土細巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り後付高台。口縁部及び高台部を横ナデ。	1/2残存。 内面中央に「〇」、底部外間に「人」の墨書き。
23-13	須A-坏	覆土	12.1 2.2	口縁部外反する。	ロクロ整形。	口縁部破片。外面に判読不明の墨書き。
23-14	灰一塊	覆土	13.3 2.0	内面に淡黄褐色の施釉。口縁部が強く外反する。	ロクロ整形。	口縁部破片。
23-15	須A-塊	周溝内	14.2 6.3 7.5	底部より口縁部にかけて僅かに内傾し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。断面半月形の高台を有する。	ロクロ整形。付高台部横ナデ。	1/4残存。
23-16	須B-塊	覆土	16.6 5.5	体部に僅かに内傾し、口縁部は外反する。	ロクロ整形。	口縁部破片。赤色スコリア状物質を含む。
23-17	土一塊	覆土	14.3 4.0	コ字状口縁を有する。須部から洞部にかけて緩やかに開く。	口縁部を横ナデ。洞部は横位のへラ削り。	口縁部破片。僅かに海綿骨針を含む。
23-18	土一塊	覆土	19.9 3.6	コ字状口縁部の破片。口唇部断面三角形を呈する。口縁部と須部の間に横有り。	口縁部を横ナデ。	口縁部破片。

図面 版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
23-19	土一甕	覆土 北東隅	3.1 9.6	台付甕の底部	台部横ナデ。指頭痕顯著に残る。	台部1/2残存。

表土 土器一覧

図面 版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
24-1	須B一环		12.4 4.1 5.9	厚手の底部より口縁部にかけて内凹し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り。	1/2残存。 赤色スコリア状物質含む。
24-2	須A一环		2.5 8.1	上げ底の底部より直線的に外上方へ外傾する。	ロクロ整形。底部回転糸切り後周縁を回転へラ削り。	底部破片。内外面にスズ付着。黒色スコリア状物質を含む。
24-3 図版39	須A一环		2.9 8.2	底部より体部にかけてやや内凹する。	ロクロ整形。底部回転糸切り後底部周縁から体部下端にかけて回転へラ削り。	底部破片。底部外間に「イ」の墨書き。
24-4	須A一皿		16.0 2.0	体部はやや内凹し、口縁部は外反する。ロクロ痕顯著。	ロクロ整形。	口縁部破片。
24-5	須一蓋		2.4	天井部より体部にかけて内凹し、口縁部は直線的に外傾する。	ロクロ整形。天井部回転糸切り後周縁を回転へラ削りし、天頂部を指ナデ。体部横ナデ。	1/4弱残存。
24-6	須A一塊		1.6 8.0	上げ底の底部よりやや内凹して立ち上る。	底部回転糸切り後周縁から体部下端にかけて回転へラ削り。	底部破片。
24-7	須A一塊		2.8 6.1	底部から体部にかけて内凹する。断面細い台形の高台を有する。	ロクロ整形。底部回転糸切り後一部を残し底部から体部下端にかけて回転へラ削り。付高台。	底部破片。海綿骨針含む。
24-8	須一甕			甕体部の破片。		転用規。
24-9	土一甕		3.6 10.5	台付甕の底部。	台部横ナデ。	台部の1/2残存。
24-10	須一甕		19.9 3.0	大きく外上方へ開く。口唇部断面半月状を呈する。	ロクロ整形。	口縁部破片。海綿骨針含む。
24-11	土一甕		17.9 5.9	ヨ字状口縁を有する。	ロ須部は横ナデし、肩部は横位へのラ削りを行なう。	口頭部破片。

鎧瓦一覧

國面版	出土位置	直径	内区				外区				全長	備考		
			中房 徑	蓮子数	弁区 徑	弁幅	弁数	内縁		外縁				
								幅	文様	幅	文様			
25-1 國版28		6.2				4.75	T2	1.3			0.8	Ba	瓦当裏面指ナデ。	

字瓦一覧

國面版	出土位置	寸法			内区			外区			脇区			備考	
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上		下		幅	文様	深さ	
								厚さ	文様	厚さ	文様				
25-2 國版28				2.9	1.6	0				1.2				0.5	頭G-2-a

男瓦一覧

國面版	出土位置	寸法				成・整形の特徴						備考	
		凹面			凸面			端面					
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徴	印き	特徴	特徴		
25-11 國版28		8.5		6.6	1.5		18×18	狭端・左側端縫 ヘラ削り。		板状工具で回転 ナデ。右側端縫 を幅広くヘラ削 り。	狭端・右側端指 ナデ。	狭端面に「×」 のヘラ書き。 海綿骨針含む。	
25-12 國版28		5.4		6.9	1.2		18×18	狭端・左側端縫 ヘラ削り。	繩目	板状工具で回転 ナデ。	狭端指ナデ。右 側端余切り後無 調整。		
25-13			12.6	11.5	1.9	粘土板		全面粗く指ナデ。 広端・右側端縫 幅広くヘラ削り。		全面板状工具で 回転ナデ。左側 端・右端縫ヘラ削 り。	広端ヘラ削り。 左側端指ナデ。	左側端縫ワラ状 圧痕。海綿骨針 含む。	

女瓦一覧

25-3			11.1	2.4	粘土板	17×21	左側端縫ヘラ削 り。	正格子	無調整。		左側端指ナデ。	少量の海綿骨針 含む。
25-4 國版29		14.3	11.2	2.0			全面粗くヘラ削 り。広端・右側 端縫を幅広くヘ ラ削り。	正格子	無調整。		広端指ナデ。右 側端ヘラ削り後 指ナデ。	海綿骨針含む。
25-5 國版29		8.3	19.5	2.9		18×20	左側端縫ヘラ削 り指ナデ。	繩目	無調整。		狭端・左側端指 ナデ。	狭端面にワラ状 圧痕。黒色スコ リア状物質少量 含む。
25-6			12.7	2.8			狭端縫幅広く、 ヘラ削り。	斜格子	無調整。		狭端ヘラ削り。	凹面に3cmの不 規則底。黒色ス コリア状物質含 む。

國面 國版	出土 位置	寸法				成・整形の特徴						備考	
						凹面		凸面		端面			
		狹端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徵	印き	特徵	特徵		
25-7				10.5	2.5	粘土板	17×18		斜格子			海綿骨針含む。	
25-8		6.5		18.3	2.1	粘土紐	22×30	狭端縁幅広くヘラ削り。	縦目L	右側端縁の一部ヘラ削り。	右側端指ナゾ後ヘラ削り。	狭端面ワタ状圧痕。	
25-9 國版29				15.0	1.6	粘土板	16×18	左側端縁幅広くヘラ削り。	斜格子	無調整。	左側端指ナゾ。	凸面「橋」の逆字押型文字。少量の黒色スコリフ状物質含む。	
25-10				6.6	1.5		21×24		縦目L 13本			凹面模骨文字「大」。	

第44次調査出土遺物

SD49溝跡 土器一覧

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴				成・整形の特徴				備考	
26-5 図版30	土一坏	覆土	10.3 4.0 5.0	丸味を帯びた底部より体部にかけて内凹し、口縁部は直立する。				粘土粗巻き上げ後、体部外面は指頭により成形。内面へア調整。口縁部内外面は横ナヂ。				1/2残存。	

SD17・49溝跡 字瓦一覧

図面 図版	出土 位置	寸法			内区			外区			協区			文様 深さ	全長	備考
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上 厚さ	下 厚さ	文様	幅	文様	幅			
26-9 図版30	SD49 覆土				4.0		H				3.8				7.1	
26-14 図版30	SD17 覆土	1.5			5.2		HK								20.4	

ビット 土器一覧

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴				成・整形の特徴				備考	
26-1 図版30	須B-坏	P60	12.6 3.4 4.8	上げ底の底部より直線的に外上方へ外傾し、口縁部は肥厚してやや外反する。				粘土粗巻き上げ後クロ整形。底部回転削切り。口縁部内外面横ナヂ。				完形。 赤色スコリア状物質を含む。	

造瓦一覧

図面 図版	出土 位置	直径	内区					外区					文様 深さ	全長	備考
			中房 径	蓬子数	弁区 径	弁幅	弁数	幅	内 縁	外 縁	幅	高 文様			
26-8 図版30	P7	18.9	6.2	1+4	4.0	3.4	T6	2.2	0.9	Aa	1.3	0.7	Aa	15.2	

字瓦一覧

図面 図版	出土 位置	寸法			内区			外区			協区			文様 深さ	全長	備考
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	弧深	厚さ	厚さ	文様	上 厚さ	下 厚さ	文様	幅	文様	幅			
26-10 図版30	P15				5.7	4.7		0.3	a	0.7	a			0.3	10.9	須G1-c

表土 士器一覧

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
26-2 図版30	須B-环		11.6 3.8 5.5	底部から体部にかけて内凹し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	粘土細巻き上げ後ロクロ整形。底部回転糸切り。	一部欠失。 赤色スコリア状物質を含む。
26-3	須A-环		11.5 3.3 —	体部は内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	粘土細巻き上げ後ロクロ整形。口縁部内外面を横ナデ。	1/5残存。
26-4	須A-环		13.6 4.6 —	体部は内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	粘土細巻き上げ後ロクロ整形。	1/5残存。 内面に自然釉付着。
26-5	土-环		9.9 2.5 —	体部は内凹し、口縁部は直線的に外上方へ外傾する。	粘土細巻き上げ後指頭により成形。 口縁部内外面横ナデ。内面ヘラナデ。	口縁部破片。
26-7	土-环		12.4 3.8 4.8	体部は内凹し、口縁部は直立する。	粘土細巻き上げ後指頭により成形。 口縁部内外面横ナデ。内面ヘラナデ。	1/3残存。

女瓦一覧

図面 図版	出土 位置	寸法				成・整 形 の 特 徴						備 考	
		凹 面		凸 面		端 面							
		狭端	広端	全長	厚さ	素 材	布 目	特 復	叩き	特 復	特 復		
26-15				11.2	1.8		21×24	右側端縁ヘラ削り。	正格子	無調整。	右側端ヘラ削り。		

石製品一覧

図面 図版	種別	出土位置	寸法	備考
26-11	砥石		長さ 幅 厚み 6.0 2.8 1.9	四面を砥面に使用。
26-12	砥石		長さ 厚み 3.4 0.5	

鉄製品一覧

26-13	不明		長さ 幅 厚み 5.5 4.4 0.8	
-------	----	--	------------------------------------	--

第31次調査出土遺物

SD 23 溝跡 土器一覧

面 図 版	種別 器形	出 土 位 置	法 量	器 形 の 特 徴	成・整 形 の 特 徴	備 考
17-1 図版23	須B-塊	8-層 下工	13.6 6.3 7.0	底部より体部にかけて内凹し、口縁部は肥厚し、やや外反する。断面三角形の高台を有する。	クロ整形。底部回転糸切り後付高台。体部から底部にかけて及び高台部を横ナデ。	1/2 残存。 赤色スコリア状物質を含む。
17-2 図版23	須B-塊	8-層 上工	15.6 6.7 7.1	底部より体部にかけてやや直線的に外上方へ外傾する。口縁部はやや外反する。断面三角形の高台を有する。	クロ整形。付高台。口縁部及び体部から底部・高台部を横ナデ。	1/3 残存。 赤色スコリア状物質を含む。

埴一覧

面 図 版	出 土 位 置	寸 法			表 裏	側 面	備 考
		長辺	短辺	厚さ			
17-8 図版23	6-層 上工	9.9	9.3	6.3		布目痕が残る。	

第32次調査出土遺物

表土 女瓦一覧

面 図 版	出 土 位 置	寸 法				成・整 形 の 特 徴						備 考	
		凹 面			凸 面			端 面					
		狭端	広端	全長	厚さ	素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴		
17-5 図版23		11.1		12.3	3.0		30×34	狹端縁をヘラ削り、右側端縁を指ナデ。	縫目L 15本	無調整。	狹端・右側端を 縫目叩き後ヘラ削り。	黒色スコリア状 物質含む。	

第33次調査出土遺物

SX3 (A地区) 土器一覧

國面 國版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
27-1 國版31	須A-环		18.6 3.8 5.95	底部から体部にかけてやや内凹し、口縁部は肥厚して外反する。全体的に器内が薄い。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部から内面にかけて横ナデ。	1/2弱残存。
27-2 國版31	須A-环		12.2 4.6 4.55	厚手の底部より体部にかけてやや内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部から内面にかけて横ナデ。	1/2弱残存。内面スス付着。

表土瓦一覧

國面 國版	出土 位置	寸法			内区		外区		脇区		文様 深さ	全長	備考
		上弦 弧幅	下弦 弧幅	厚さ	厚さ	文様	上 厚さ 文様	下 厚さ 文様	幅	文様			
27-3 國版31	A地区 瓦ダメ			3.2		G					0.6		二次焼成を受ける。
27-4 國版31	A地区 瓦ダメ			2.3		G					0.3	6.7	赤色スコリア状物質を含む。
27-5 國版31	A地区 瓦ダメ			3.6		KK					11.6		須F2-c。頸部に棒状圧痕。

男瓦一覧

國面 國版	出土 位置	寸法				成・整形の特徴						備考	
		狭端	広端	全長	厚さ	素材	布目	特徵	叩き	凸面	端面		
27-6 國版31	A地区 表土	3.5		18.4	1.5	粘土織		全面を縱方向に指ナデ。狭端縁幅狭くヘラ削り。		全面縦方向に指ナデ。	狭端はヘラ削り。左側端は糸切り後無調整。		凸面分吉縫有り。海綿骨針。黒色スコリア状物質含む。
27-7 國版31	A地区 瓦ダメ	15.0	14.5	1.5		粘土織	16×20	広端・左側端縁を幅広くヘラ削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端・右側端縁をヘラ削り。	広端・右側端をヘラ削り。		黒色スコリア状物質を含む。
27-8 國版31	A地区 瓦ダメ	10.2	26.1	1.4		粘土織	26×24	広端・右側端縁を幅広くヘラ削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端・右側端縁を幅広くヘラ削り。	広端ヘラ削り。左側端糸切り後ヘラ削り。		布合せS。黒色スコリア状物質含む。
27-9 國版31	A地区 瓦ダメ	17.8	16.7			粘土織	28×29	広端・左側端縁を幅狭くヘラ削り。		全面板状工具で回転ナデ。広端・右側端縁ヘラ削り。	広端・右側端をヘラ削り。		広端隅切り。凸面分縫有り。黒色スコリア状物質含む。
27-10 國版31	A地区 瓦ダメ	14.7	11.6	1.9		粘土織	33×35	左側端縁・広端縁を幅広くヘラ削り。		全面板状工具で回転ナデ。	広端を縫目叩き。右側端はヘラ削り。		凹面粗圧痕有り。凸面ナデ後の布目痕有り。海綿骨針含む。

國面 國版	出 土 位 置	寸 法			成 ・ 整 形 の 特 徵							備 考	
		狭端	広端	全長	厚さ	凹 面		凸 面		端 面			
						素 材	布 目	特 徵	印 き	特 徵	特 徵		
28-1 國版32	A地区 表土	10.8		21.8	1.1	粘土組	30×27	狭端縁をヘラ削り。 端縁を幅広くへラ削り。	全面板状工具で 回転ナデ。右側 端縁を幅狭くへ ラ削り。	全面板状工具で 回転ナデ。右側 端縁を幅狭くへ ラ削り。	左右側端指ナデ。		
28-2 國版32	A地区 表土	12.2	5.7	32.9	2.2	粘土組	28×28	狭端縁を除く3 端縁を幅広くへ ラ削り。	織目L	全面縱方向に指 ナデ。狭端縁除 く3端縁をヘラ削 り。	狭端指ナデ。廣 端・左側端へ ラ削り。	布合せ目Z。 広端隅切り。	
28-3 國版32	A地区 表土	11.8		20.3	1.7	粘土組	21×24	粘土組接合部分 指ナデ。左右側 端縁を幅狭くへ ラ削り。	全面縱方向に指 ナデ。左右側端 縁を幅狭くへラ削 り。	全面縱方向に指 ナデ。左側端 縁を幅狭くへラ削 り。	廣端を除く3端 をヘラ削り。	凹面に「寺」の 朱墨書。	
28-4 國版32 國版41	A地区 瓦ダメ		14.9	17.7	1.7	粘土組	23×23	右側端縁を幅狭く へラ削り。	全面板状工具で 回転ナデ。左側 端縁を幅狭くへラ削 り。	全面板状工具で 回転ナデ。左側 端縁を幅狭くへラ削 り。	廣端・左側端を へラ削り。	布合せ目Sb。 凹面に「戊」また は「成」のへ ラ書き文字有り。	
29-1 國版33	A地区 表土		18.5	24.1	1.9	粘土板		広端・右側端縁 幅広くへラ削り。 左側端縁幅広く へラ削り。	全面縱方向に指 ナデ。	広端へラ削り。 左右側端へラ削 り後ナデ。	布合せ目。 赤色スコリア状 物質含む。		
29-3 國版33	A地区 瓦ダメ		18.5	25.6	1.7	粘土組	26×27	広端縁を幅広く、 左右側端縁は幅 狭くへラ削り。	全面板状工具で 回転ナデ。広端 縁を幅広くへラ削 り。	狭端を除く3端 をヘラ削り。	凹面に「寺」の 朱墨書。広端隅 切り。		
33-8 國版41	A地区 瓦ダメ				1.5							凹面にへラ書き 文字「瓦」。	
33-9 國版40	A地区 瓦ダメ		3.6	10.8	1.3		20×22	広端縁を幅広く へラ削り。	全面板状工具で 回転ナデ。広端 縁へラ削り後ナ デ。			凸面「父」押印。 黒色スコリア状 物質含む。	

女瓦一覧

29-2	A地区 瓦ダメ			17.5	1.7		27×23		正格子		左側端へラ削り。	赤色スコリア状 物質含む。
30-1 國版34	A地区 瓦ダメ			24.1	2.1		30×27	左側端縁を幅狭く へラ削り。	織目L 10本	広端縁を幅広く へラ削り。	左右側端指ナデ 後へラ削り。廣 端へラ削り。	凹面に判読不明 の朱墨書。黑色ス コリア状物質含む。
30-2 國版34	A地区 瓦ダメ		28.6	22.0	2.1	粘土組		左右両側端縁を へラ削り。	織目L 11本	無調整。	広端・左側端を へラ削り。	凹面に判読不明 の朱墨書。 黑色スコリア状 物質含む。
31-1 國版34	A地区 瓦ダメ	17.0		27.4	1.7		25×25	部分的に指ナデ。 狭端縁へラ削り。 右側端指ナデ。	織目L 15本	無調整。 印き締めの円盤 B。	狭端指ナデ後へ ラ削り。右側端 指ナデ。	凹面に判読不明 の朱墨書。黑色ス コリア状物質含む。
31-2 國版34	A地区 瓦ダメ		27.0	22.0	1.8	粘土組	34×42	左右側端縁を幅 狭く、広端縁を幅 広くへラ削り。	織目L 11本	広端縁を幅広く へラ削り。	広端縁印き後 へラ削り。左右 側端指ナデ。	凹面「寺」の朱 墨書。
32-1 國版35	A地区 瓦ダメ	20.1		19.0	1.95	粘土板		部分的延へラ削 り。広端除く3端 縁を幅広くへ ラ削り。	織目L	無調整。	広端を除く3端 をへラ削り。	粘土板合せ目Z。

国 画 版	出 土 位 置	寸 法				成 形 の 特 徴						備 考	
		凹 面			凸 面			端 面					
		狭端	広端	全長	厚さ	素 材	布 目	特 徴	叩 き	特 徴	特 徴		
32-2 国版35	A地区 瓦ダメ		18.8	26.7	2.7	粘土織	23×20	部分的に指ナデ。 左側端縁・広端 縁を幅広くヘラ削り。	織目L 10本	無調整。 叩き縮めの円弧 B。	広端・左側端を ヘラ削り。	凹面に判読不明 の朱墨書。全体 に自然釉付着。	
32-3 国版35	A地区 瓦ダメ	20.3	23.2	1.7			27×20	広端・左側端縁 を幅広くヘラ削 り。	織目L 8本	無調整。	左側端指ナデ。	凸面棒状压痕。 凹面判読不明模 骨文字。黒色ス コリア状物質含む。	
32-4 国版34	A地区 瓦ダメ	11.2		26.8	2.6		22×28	狭端・右側端縁 を幅狭くヘラ削 り。	織目L 12本	無調整。	狭端・右側端指 ナデ後ヘラ削り。 (一部凸面に及 ぶ)	凹面に指書き。 凸面に棒状压痕。 多量の黒色ス コリア状物質含む。	
33-1 国版36	A地区 表 土	18.4		12.2	2.2	粘土板 ?		全面横方向にナ デ。右側端縁ヘ ラ削り。	織目L 10本	無調整。	狭端・右側端ヘ ラ削り。	凸面に整形台压 痕。海綿骨針含 む。	
33-2 国版33	A地区 瓦ダメ		6.5	15.8	2.1	粘土織		全面横方向にナ デ。左側端縁幅 狭く、広端縁幅 広くヘラ削り。	斜格子	無調整。	広端・左側端ヘ ラ削り。	海綿骨針含む。	
33-3 国版33	A地区 瓦ダメ		17.2	24.3	2.1	粘土板	24×21	左側端縁幅狭く、 広端縁を幅広く ヘラ削り。	正格子	無調整。		広端にワラ状压 痕。海綿骨針含 む。	
33-4 国版34	A地区 瓦ダメ		16.5	13.4	1.8		34×36	部分的指ナデ。 広端縁幅広く、 右側端縁幅狭く ヘラ削り。	織目L 13本	左側端縁を指ナ デ。	広端・右側端織 目叩き(L8本)。 部分的ヘラ削り。	一部自然釉付着。 黒色スコリア状 物質含む。	
33-5 国版36	A地区 瓦ダメ			10.7	1.8			全面を横方向に ヘラナデ。	布 目	織方向にヘラ削 り。	左側端ヘラ削り。	凹面型一枚作り。	
33-6 国版34	A地区 瓦ダメ			11.4	2.7	粘土板		狭端縁を幅広く ヘラ削り。	織目L 6本	無調整。	狭端ヘラ削り。	狭端面に「中」 の押印。海綿骨 針含む。	
33-7 国版41	A地区 瓦ダメ			10.8	1.4		32×33	部分的に織方向 に指ナデ。		全面を横方向に ナデ。		凹面棒状压痕。ヘ ラ書き文字「才」。 黒色スコリア状 物質含む。	
34-1 国版40	A地区 瓦ダメ		12.8	17.1	2.6		31×29	狭端縁を幅狭く ヘラ削り。	織目L 10本	無調整。 叩き縮めの円弧 B。	広端・左側端指 ナデ。(一部凸 面に及ぶ)	凹面に模骨文字 「七」。判読不 明の朱墨書。	
34-2 国版36	A地区 瓦ダメ	11.7		19.5	2.2	粘土板		部分的に指ナデ。 左側端縁幅広く、 広端縁幅狭くヘ ラ削り。	斜格子	無調整。	左側端極く僅か にヘラ削り。	凹面に「莊」の 押印。黒色ス コリア状物質含 む。	
34-3 国版40	A地区 瓦ダメ						23×21		織目L 11本			凹面に模骨文字 「大」。黒色ス コリア状物質含 む。	
34-4 国版40	A地区 表 土	16.7		17.6	2.0	粘土織	20×23	無調整。	織目L 12本	無調整。	狭端・左側端指 ナデ。(一部凸 面に及ぶ)	凹面模骨文字 「七」。黒色ス コリア状物質含 む。	
34-5 国版40	B地区 瓦ダメ				2.1		33×27		織目L 9本			凹面模骨文字 「才」。凸面棒 状压痕。	

國面 國版	出土 位置	寸法		成・整形の特徴						備考			
				凹面			凸面		端面				
		狹端	広端	全長	厚さ	露材	布目	特徴	印き	特徴	端面		
34-5 國版40	A地区 瓦ダメ			13.6	12.4	2.0		23×31		繩目し 11本		狹端・左側端指 ナデ。	凹面に判読不明 の模倣文字。 黒色スコリア状 物質含む。

鉄製品一覧

國面 國版	種別	出土位置	寸法	備考
27-11 國版36	釘	B地区	長さ 厚み 6.8 0.3	一部欠失。
27-12 國版36	釘	B地区	長さ 厚み 5.1 0.6	
27-13 國版36	釘	B地区	長さ 厚み 3.9 0.5	頭部缺れる。

第30次調査出土遺物

SD 23構跡 土器一覧

國面 図版	種別 器形	出士 位 置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
35-1 図版37	須A-环	A層	12.3 3.3 4.3	薄い底部より直線的に開く。器肉は全体的に薄い。	粘土紐巻き上げ後クロ整形。底部回転糸切り。体部下半及び口唇部は横ナデ。	1/2残存。
35-2 図版37	須A-环	A層	12.6 3.6 4.8	上げ底の底部より口縁部にかけて僅かに内凹し、口唇部は肥厚して外反する。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部から内面にかけて横ナデ。	一部欠失。
35-3 図版38	須A-环	C層	10.2 3.4 4.0	底部から体部にかけて内凹し、口唇部は肥厚する。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面を横ナデ。	1/2弱残存。 海綿骨針含む。
35-4 図版37	須B-环	A層	13.0 3.8 5.3	薄い底部より直線的に外傾する。	クロ整形。底部回転糸切り。	2/3残存。
35-5	須B-环	A層	13.4 3.8 4.8	薄い底部より口縁部にかけて僅かに内凹し、口縁部は直線的に開く。全体的に薄手。	クロ整形。底部回転糸切り。内面を横ナデ。	口縁部2/3を欠失。赤色スコリア状物質含む。
35-6 図版37	須B-环	B層	12.9 4.0 4.5	上げ底の底部より口縁部にかけて内凹し、口唇部は肥厚して外反する。	クロ整形。底部回転糸切り。	1/2残存。 赤色スコリア状物質含む。
35-7 図版38	須B-环	C層	12.5 4.3 4.6	底部より口縁部にかけて直線的に外傾する。	クロ整形。底部回転糸切り。	2/3残存。赤色スコリア状物質含む。
35-8 図版38	須A-环	C層	12.6 3.6 4.8	体部やや内凹し、口縁部はやや外反する。	粘土紐巻き上げ後クロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面から内面にかけて横ナデ。	一部欠失。少量のスコリア状物質含む。
35-9 図版37	須A-环	B層	11.7 3.8 5.9	底部から体部にかけて内凹し、口縁部は肥厚して外反する。	クロ整形。底部回転糸切り。	口縁部1/3欠失。スス付着。赤色スコリア状物質含む。
35-10	須A-环	A層	13.6 4.9 5.0	体部下半は僅かに内凹し、体部より口縁部にかけて直線的に外傾する。口唇部肥厚する。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面横ナデ。	1/2弱残存。
35-11	須B-环	A層	14.3 5.3 5.0	体部は直線的に外傾し、口唇部は肥厚する。クロ痕顯著。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面から内面にかけて横ナデ。	1/3残存。 赤色スコリア状物質含む。
35-12	須B-环	A層	12.3 4.9 5.6	底部より口縁部にかけて内凹する。口唇部肥厚する。	クロ整形。底部回転糸切り。	1/4残存。僅く少量の赤色スコリア状物質含む。
35-13 図版38	須B-环	C層	12.5 4.2 5.2	体部は内凹し、口縁部は外反する。	クロ整形。底部回転糸切り。	1/2強残存。灯明皿。赤色スコリア状物質を含む。
35-14 図版37	須B-环	A層	12.0 4.25 5.0	底部より直立気味に立ち上り、体部は内凹し、口唇部は肥厚する。器壁剥落が著しい。	クロ整形。底部回転糸切り。口縁部内外面より内面にかけて横ナデ。	1/2残存。 赤色スコリア状物質含む。

図面 図版	種別 器形	出土 位置	法量	器形の特徴	成・整形の特徴	備考
35-15 図版38	須B-坏	C層	10.7 3.8 6.0	上げ底の底部より口縁部にかけてやや内凹気味に外傾する。	ロクロ整形。底部回転系切り。	ほぼ完形。内面にスス付着。赤色スコリア状物質含む。
35-16 図版37	須B-坏	A層	12.6 4.1 6.4	底部から口縁部にかけて直線的に外傾する。ロクロ痕顯著。	粘土巻き上げ後ロクロ整形。底部回転系切り。	完形。赤色スコリア状物質含む。
35-17 図版37	須B-坏	A層	11.2 5.1 5.6	片口。底部より口縁部にかけてやや内凹し、口唇部は肥厚する。	ロクロ整形。底部回転系切り。口縁内外面横ナデ。	一部欠失。内外面にスス付着。
35-18	須B-坏	C層	11.1 4.5 5.2	体部は直線的に外傾し、口唇部はやや肥厚する。	ロクロ整形。底部回転系切り。	口縁部1/3欠失。赤色スコリア状物質含む。
35-19	須B-坏	A層	11.8 4.2 6.3	厚い底部より口縁部にかけてやや内凹して外傾する。	ロクロ整形。底部回転系切り。口縁部内外面を横ナデ。	口縁部1/2欠失。赤色スコリア状物質含む。
35-20	土-坏	A層	10.3 3.2 5.6	底部から口縁部にかけて直線的に外傾する。	底部回転系切り。	1/4残存。カワラケ。赤色スコリア状物質含む。
36-1 図版38	須-Ⅲ	C層	11.5 3.0 5.9	厚い底部から体部にかけて僅かに内凹し、口縁部は外反する。断面台形の高台を有する。	粘土巻き上げ後ロクロ整形。底部回転系切り後付高台。底部・口縁部から内面横ナデ。	完形。黒色スコリア状物質含む。
36-2 図版37	土-塊	B層	16.0 5.8 5.7	丸味を帯びた平底の底部より口縁部にかけて内凹する。器壁の剥落が著しい。	底部より体部下半を手持ちヘラ削り。体部上半から口縁部横ナデ。内面ヘラミガキ。	1/4欠失。内面黒色処理。
36-3	土-塊	A層	17.1 5.3 —	コ字状の口縁を有する。頸部はほぼ直立する。	口縁部横ナデ。胴上部内面ナデ。外面横方向のヘラ削り。	口頸部破片。
36-4 図版37	須B-坏	B層	— 1.9 5.7	底部から直線的に立ち上る。底部中央に焼成後の穿穴あり。	ロクロ整形。底部回転系切り。	底部破片。赤色スコリア状物質含む。
36-5	須-燒	A層			外面平行叩き。	体部破片。軸用鉈。

鑄瓦一覧

図面 図版	出土 位置	直径	内 区				外 区				全長	備 考			
			中房 径	連子数	弁区 径	弁幅	弁数	幅	内縁 幅	外縁 幅					
36-11 図版38	A層	17.8			3.3	2.6	T8	1.9	0.5	Aa	1.4	0.6	Aa	3.2	海綿骨針・黒色スコリア状物質を含む。
36-12 図版38	A層				3.7	3.4	S1	2.9	1.3	Aa	1.6	0.5	Aa		瓦当裏面は繩目叩き。黒色スコリア状物質含む。

女瓦一覧

國面 國版	出土 位 置	寸 法				成・整 形 の 特 徴						備 考
		狭端	広端	全長	厚さ	素 材	布 目	特 徵	叩 き	特 徵	端 面	
36-10	A 層	7.4		12.7	1.5		21×18	翼端・右側端縁をヘラ削り。		全面を指ナデ。左側端縁ヘラ削り。	翼端・右側端を指ナデ。	少量の海綿骨針・黒色スコリア状物質含む。
36-13 國版38	A 層		29.2	26.6	2.7	粘土組	18×15	左右側端縁幅狭く、広端縁広くヘラ削り。	織目L 11木	無調整。叩き締めの円弧B。	翼端を餘く3端を指ナデ後ヘラ削り。	広端面にリラ状压痕。海綿骨針含む。

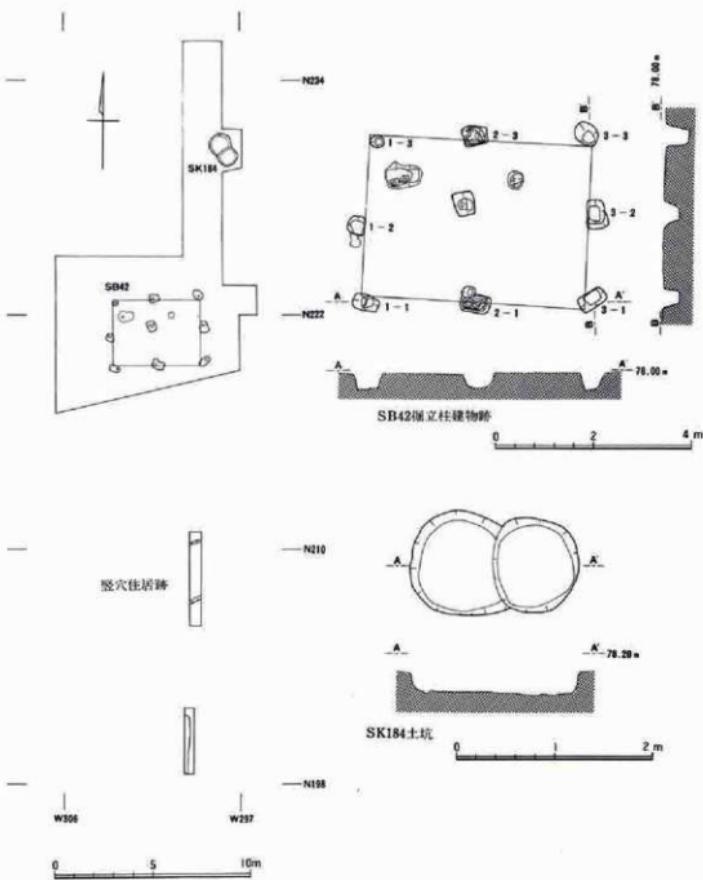
石製品一覧

國面 國版	種 别	出 土 位 置	寸 法	備 考
36-6	砥 石	A 層	長さ 幅 厚み 10.7 7.5 6.0	

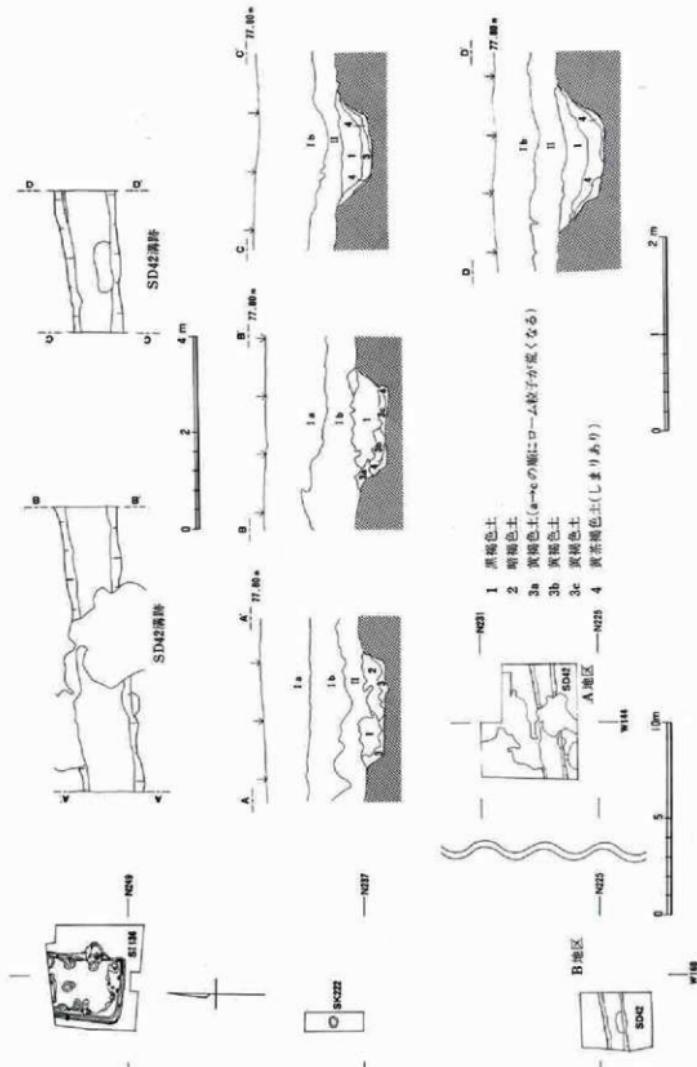
表土 鉄製品一覧

36-7	不 明		長さ 幅 厚み 2.8 1.9 0.2	
36-8	刀 子		長さ 幅 厚み 2.1 1.1 0.2	刀子の基。
36-9	釘		長さ 厚み 5.2 0.7	

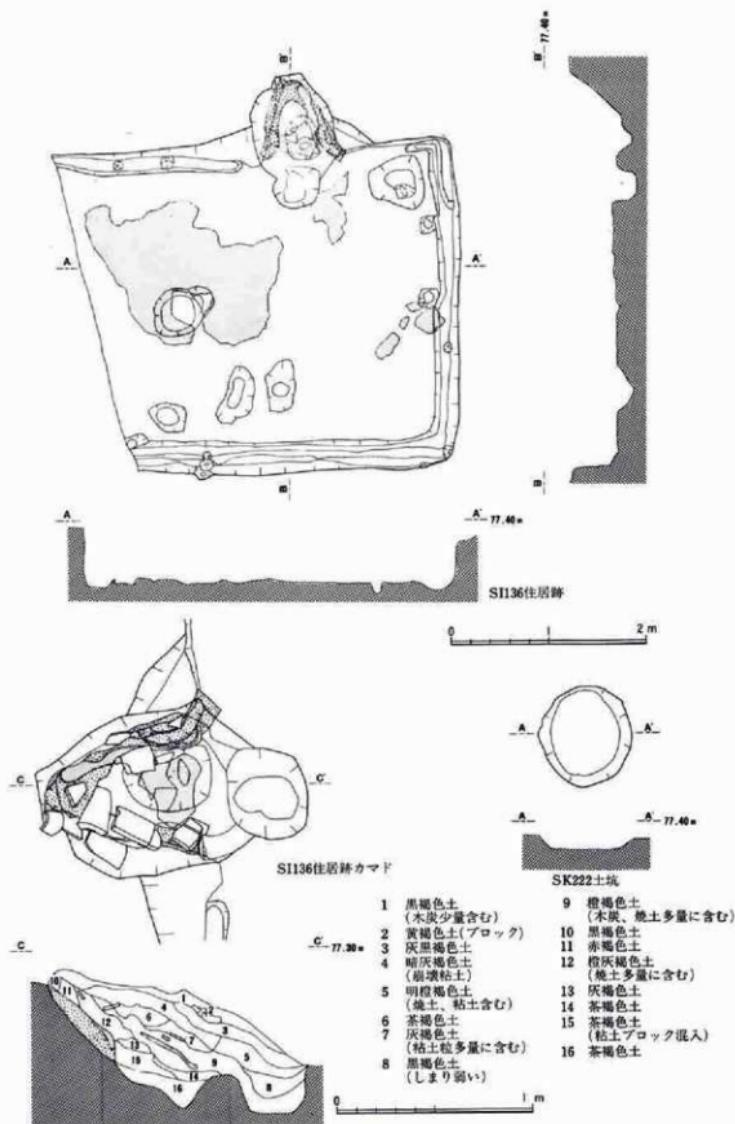
図 面



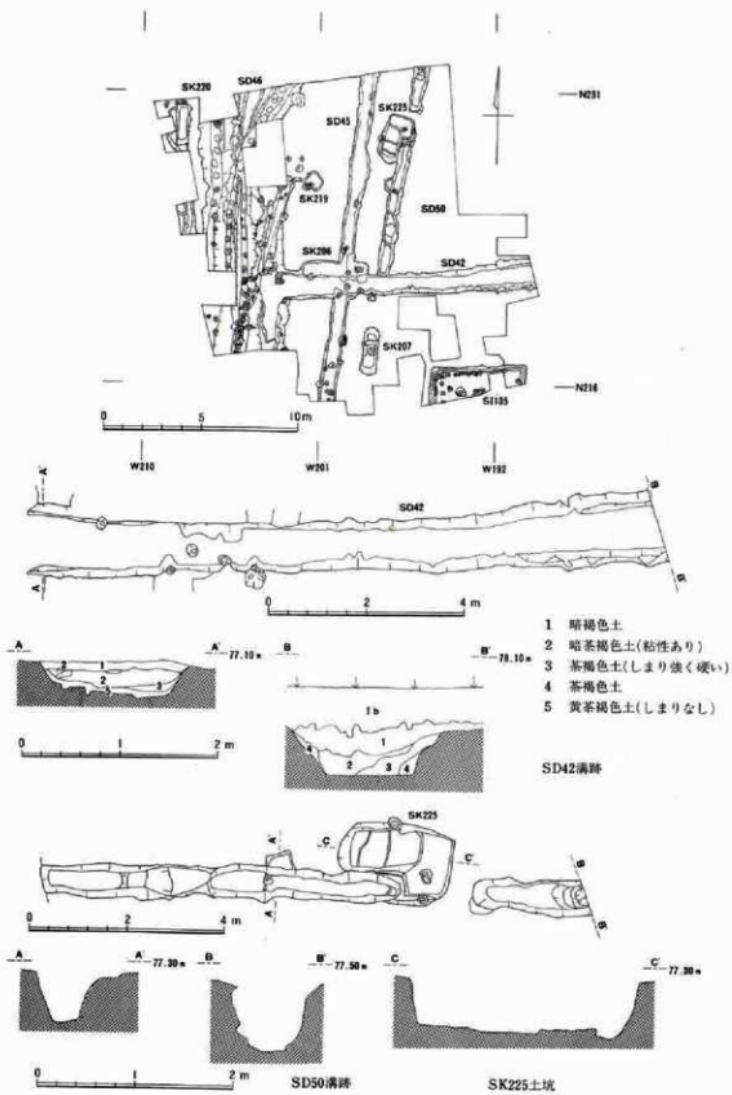
図面1 第41次調査 遺構配置図、SB42掘立柱建物跡、SK184土坑実測図



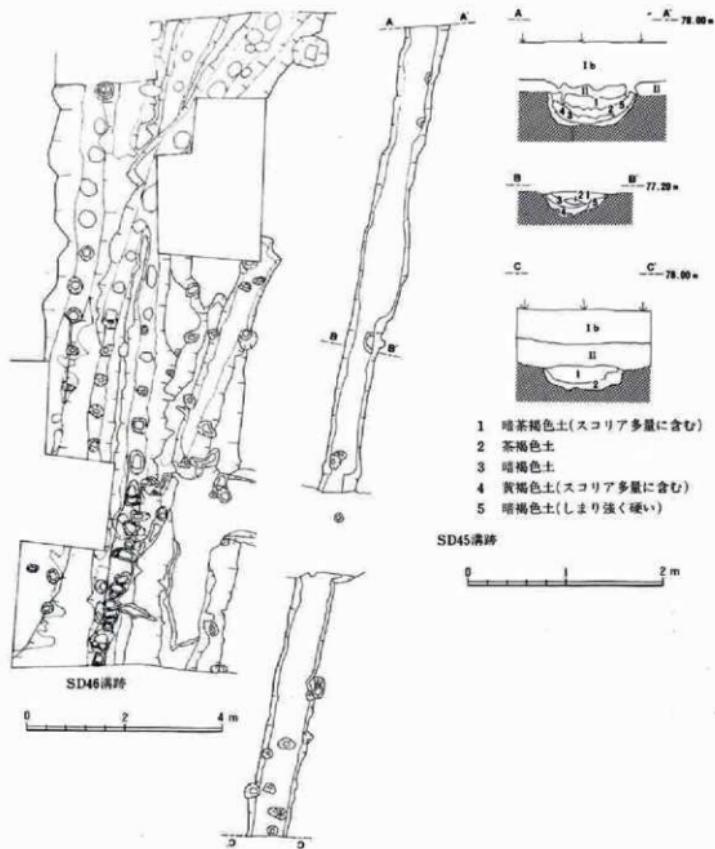
図面2 第42次調査 道標配置図 SD42海岸実測図



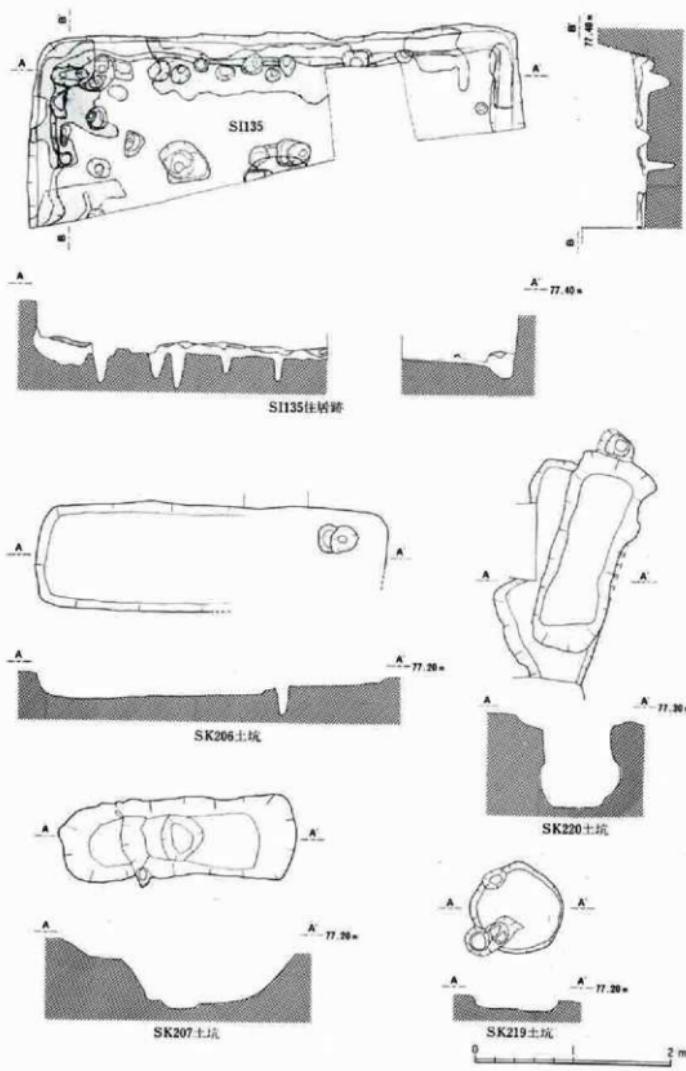
図面3 第42次調査 SI136住居跡、SK222土坑実測図



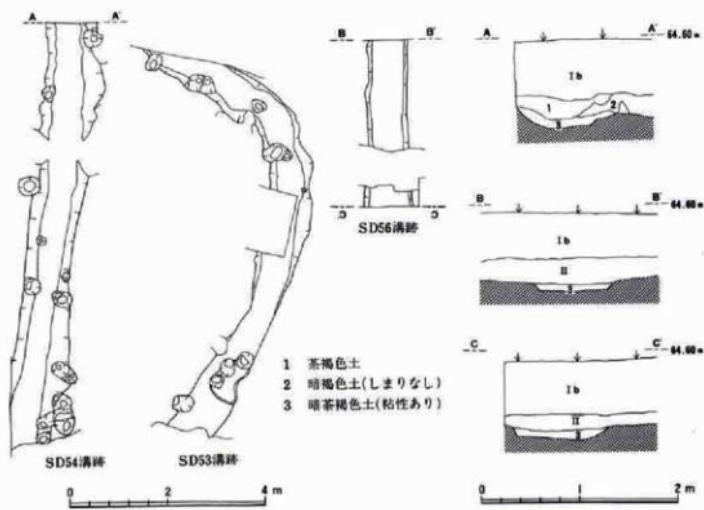
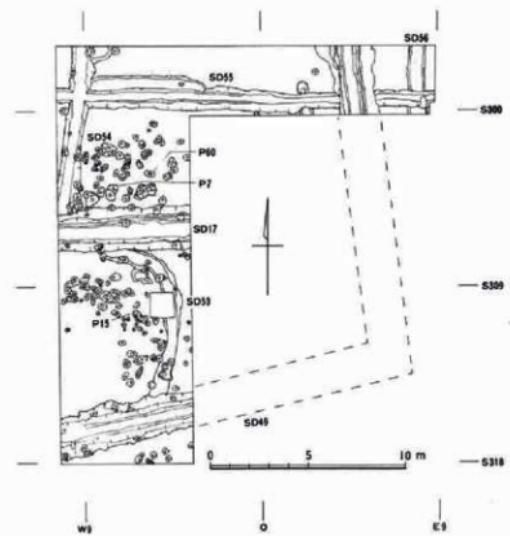
図面4 第48次調査 遺構配置図、SD42・50溝跡、SK225土坑実測図



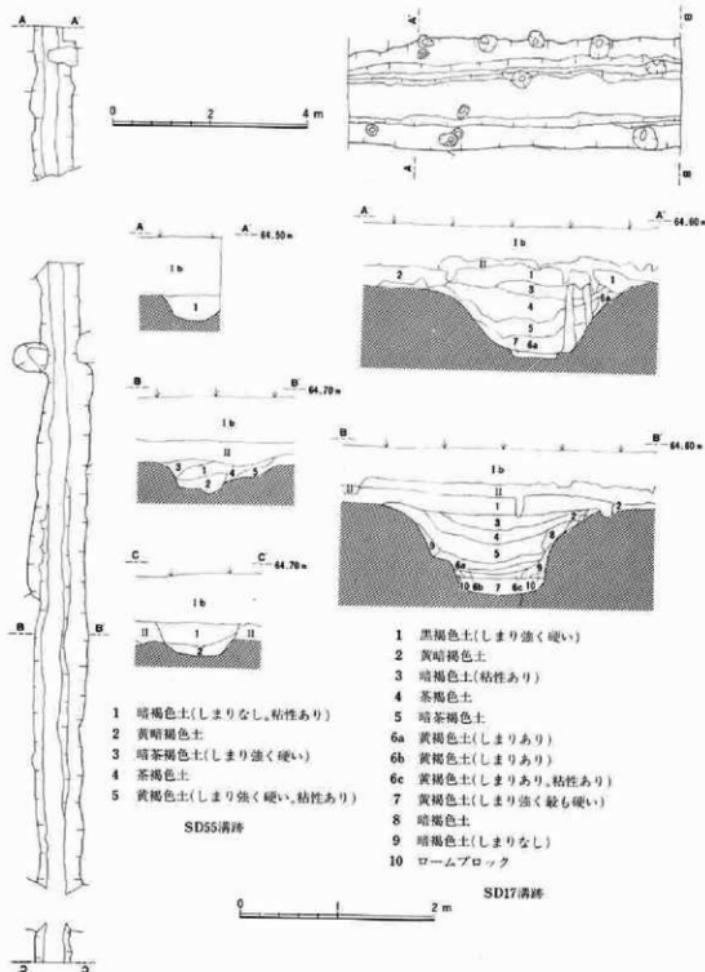
図面5 第48次調査 SD45・46溝跡実測図



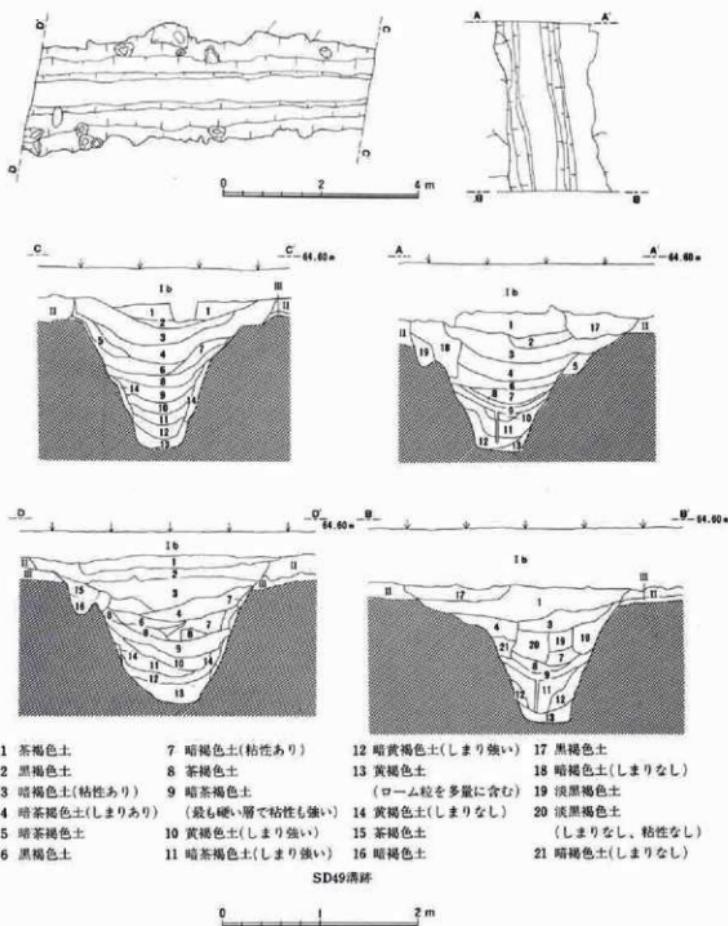
図面6 第48次調査 SI 135住居跡、SK206・207・219・220土坑実測図



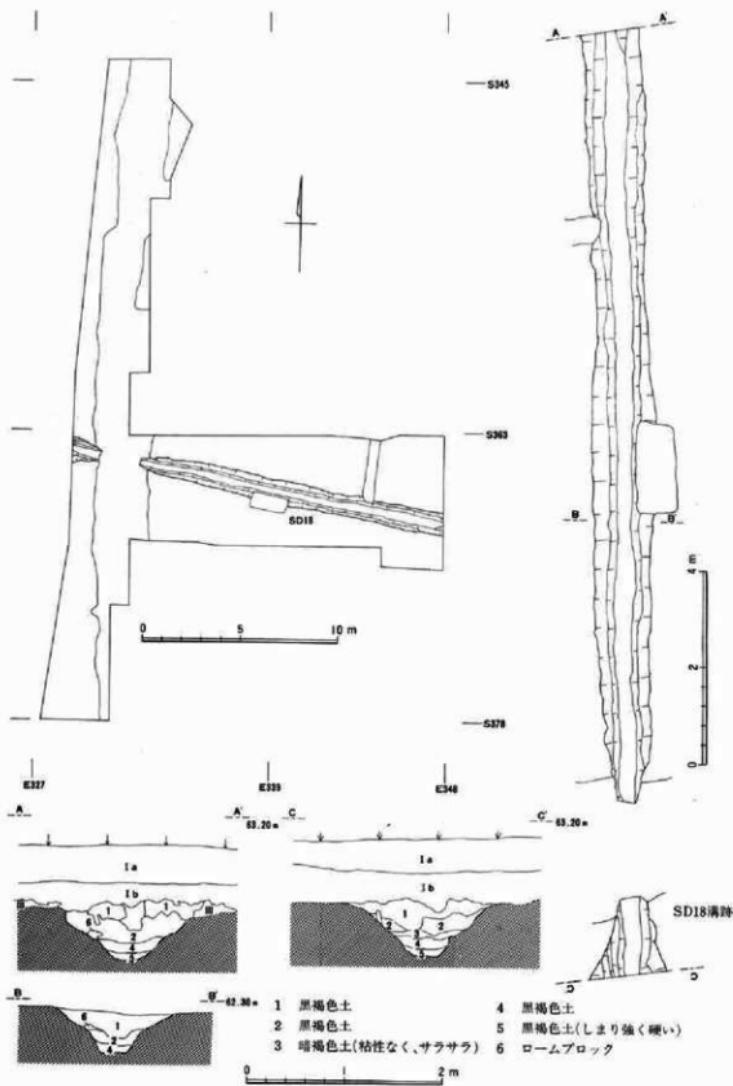
図面7 第44次調査 遺構配置図、SD53・54・56溝跡実測図



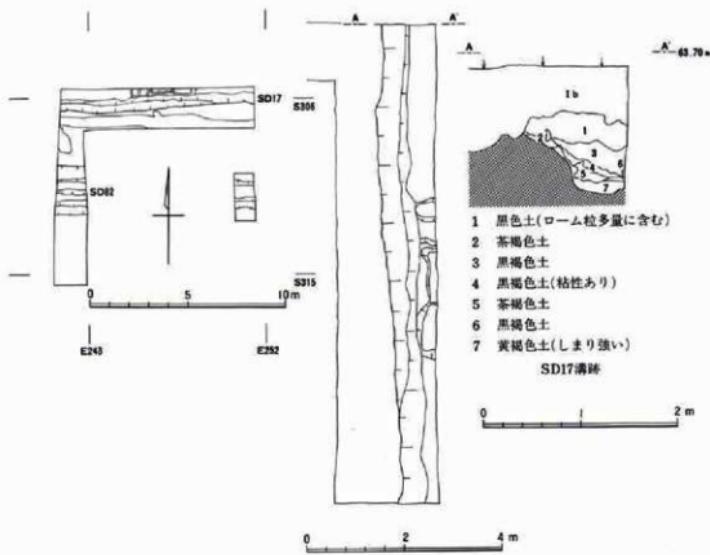
図面8 第44次調査 SD17・55溝跡実測図



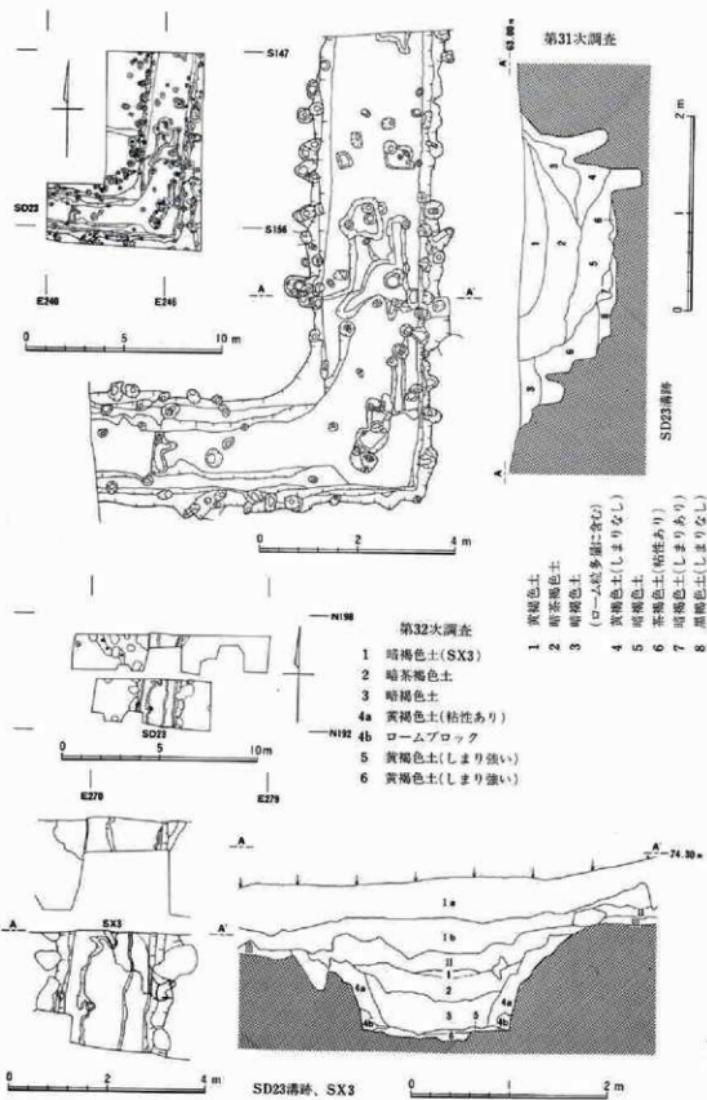
図面9 第44次調査 SD49溝跡実測図



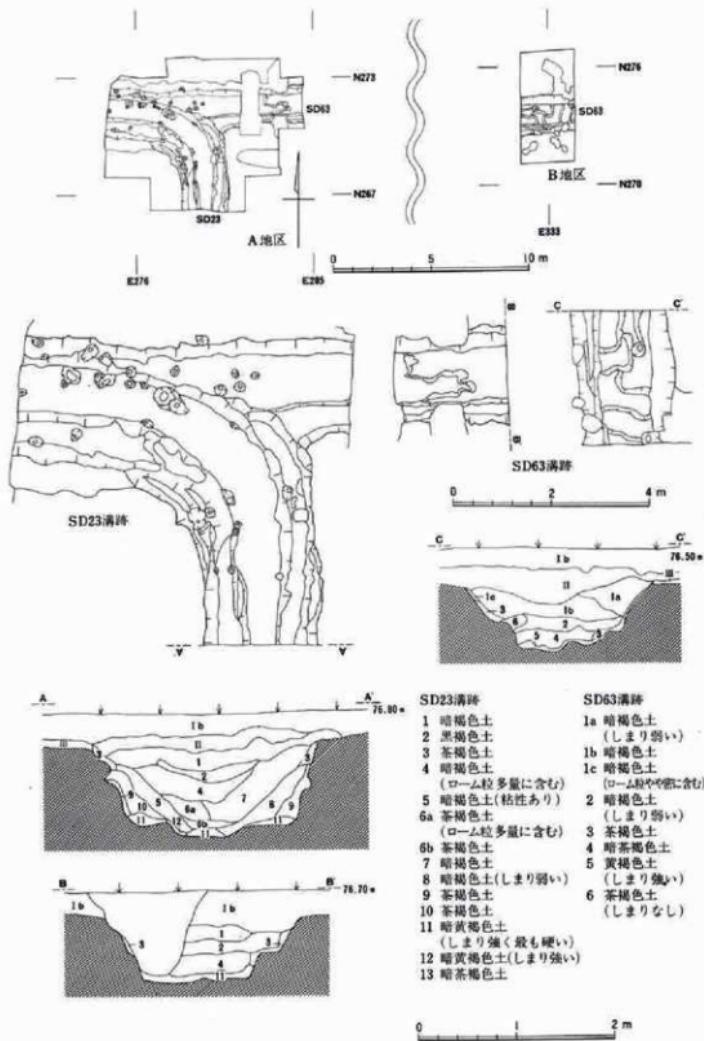
図面10 第50次調査 遺構配置図、SD18溝跡実測図



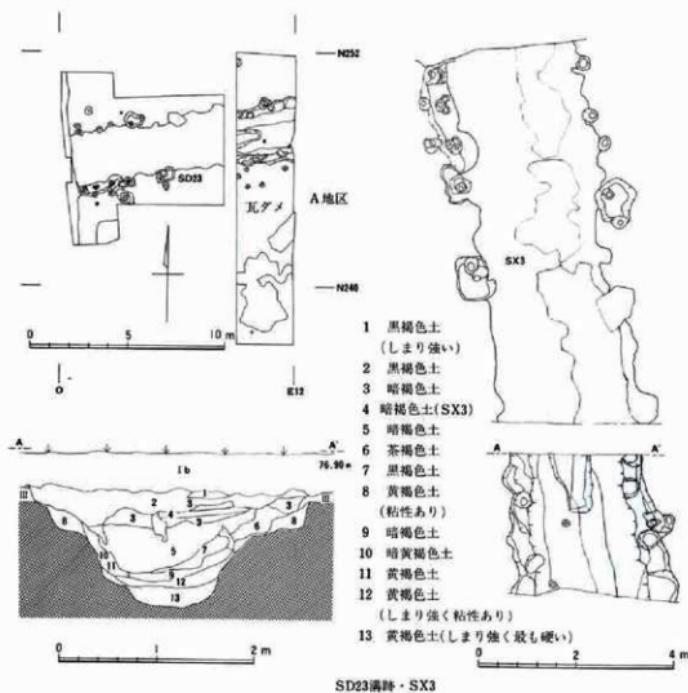
図面11 第78次調査 遺構配置図、SD17溝跡実測図



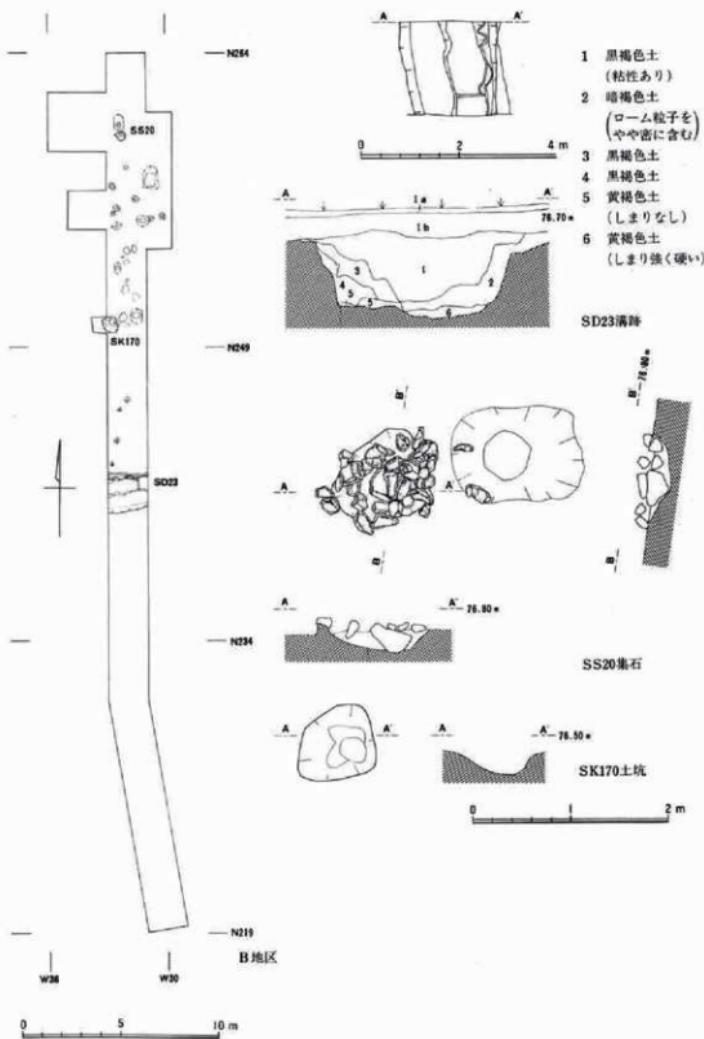
図面12 第31・32次調査 遺構配置図、SD23溝跡、SX3実測図



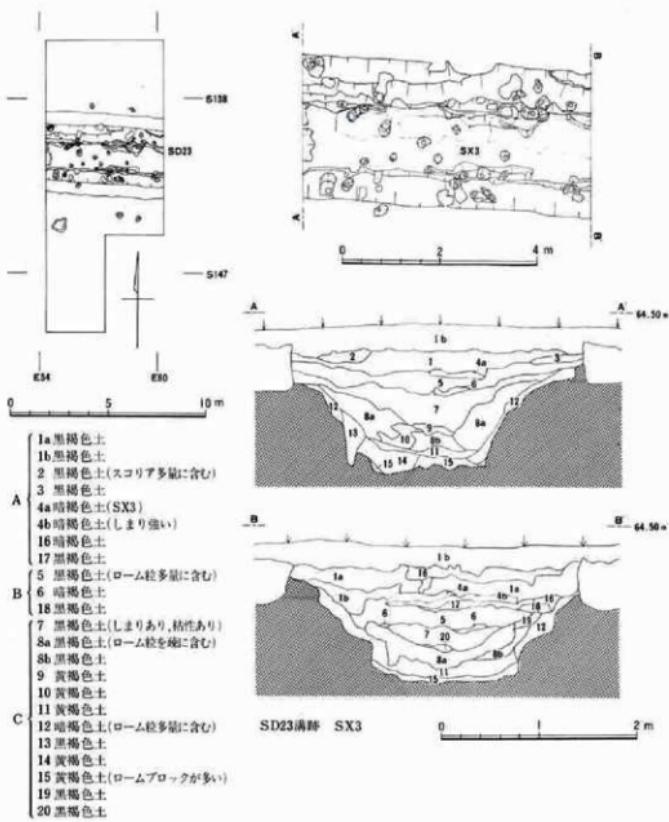
図面13 第43次調査 遺構配置図、SD23・63溝跡実測図



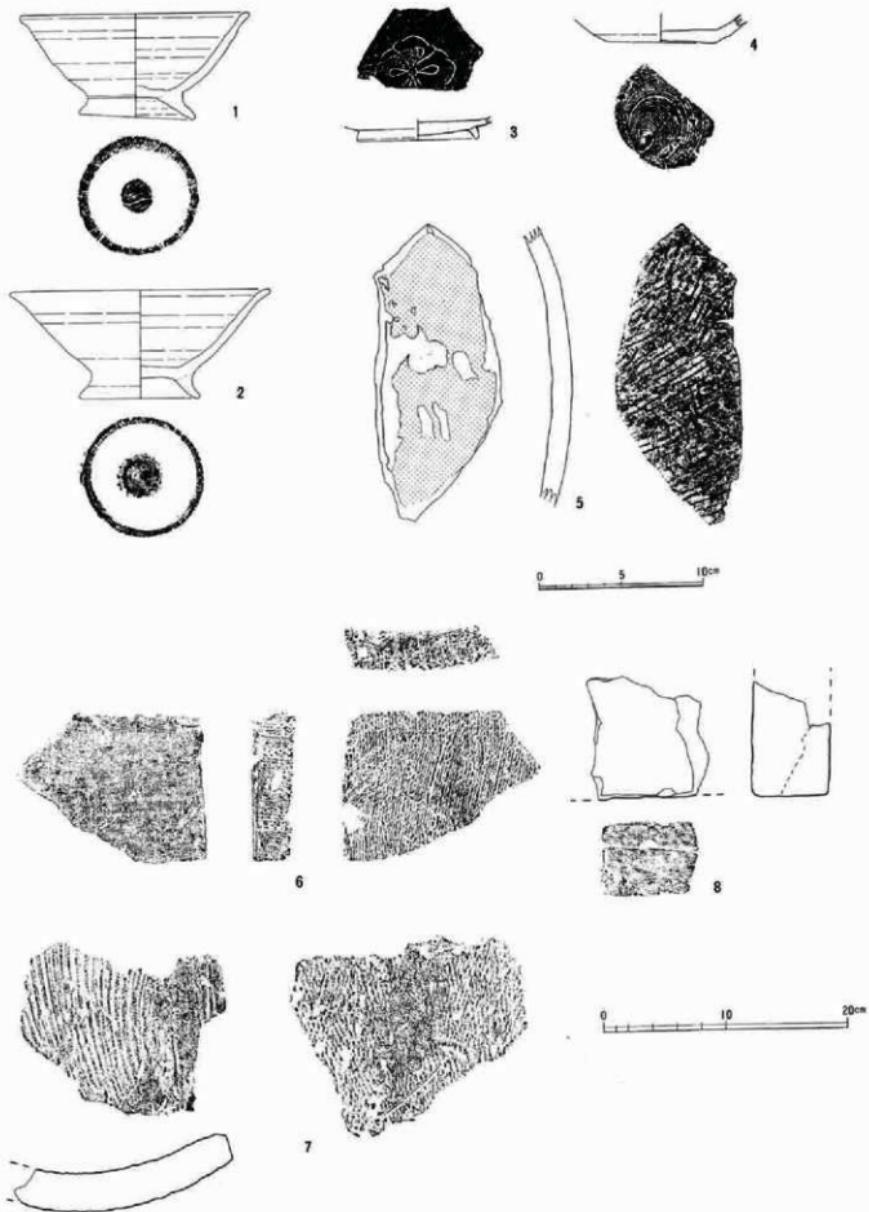
図面14 第33次調査 A地区遺構配置図、SD23溝跡、SX3実測図



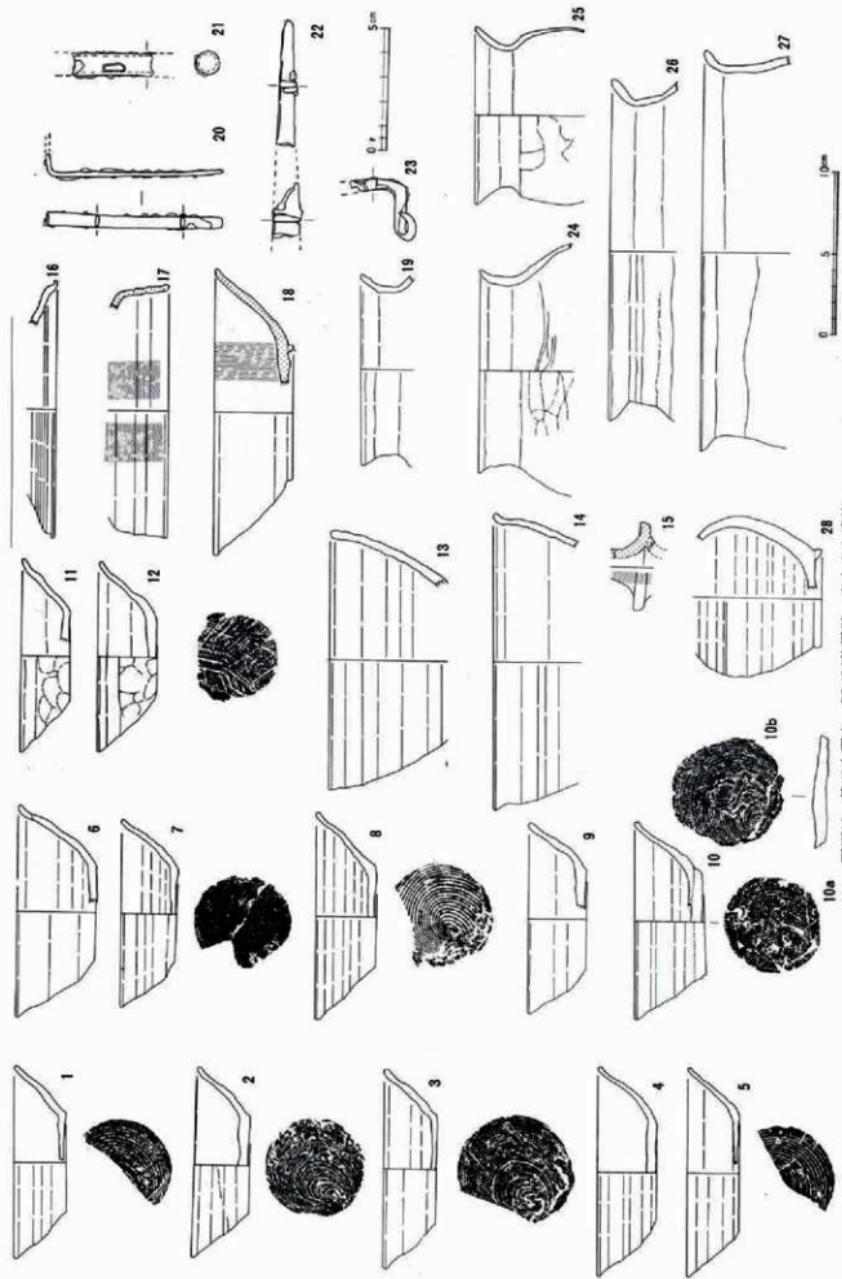
図面15 第33大調査 B地区遺構配置図、SD23溝跡、SS20集石、SK170土坑実測図



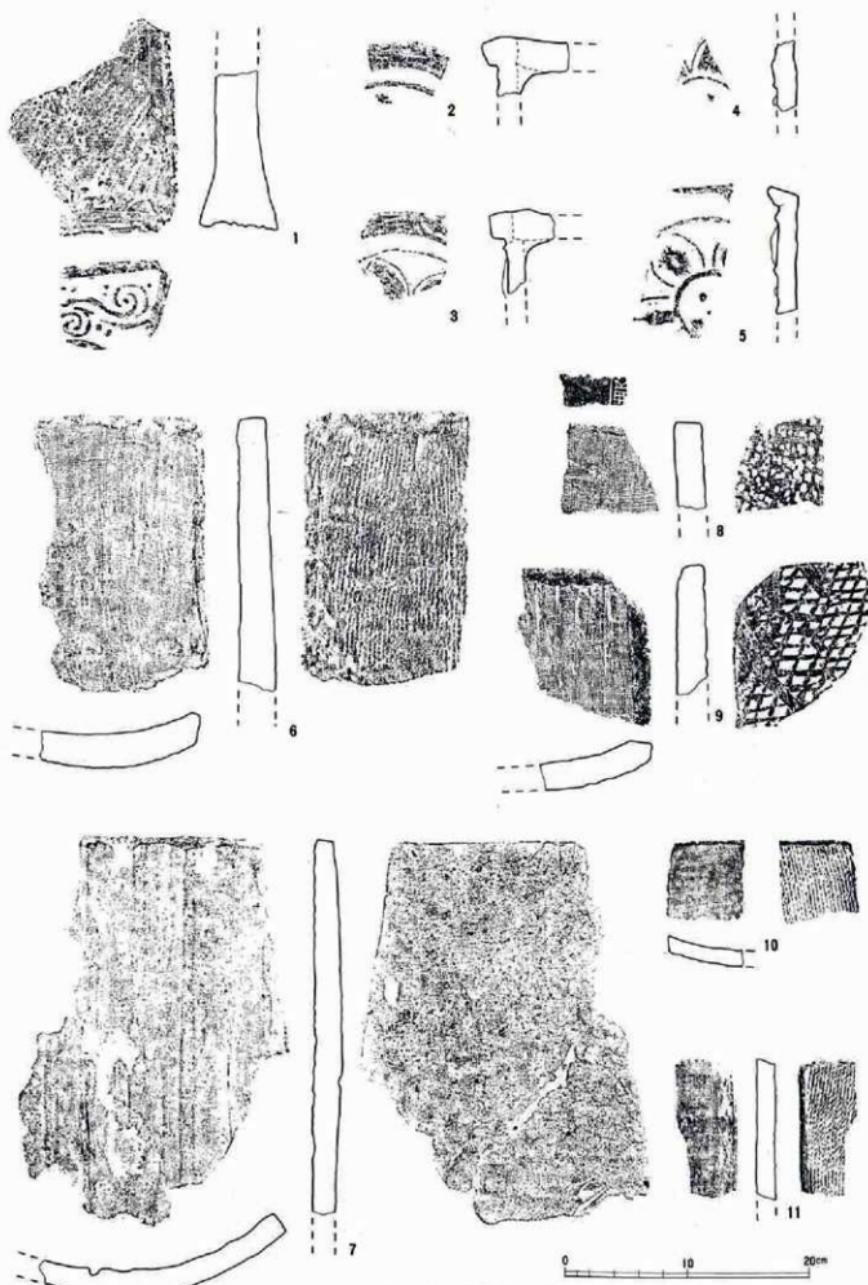
図面16 第30次調査 遺構配置図、SD23溝跡、SX3実測図



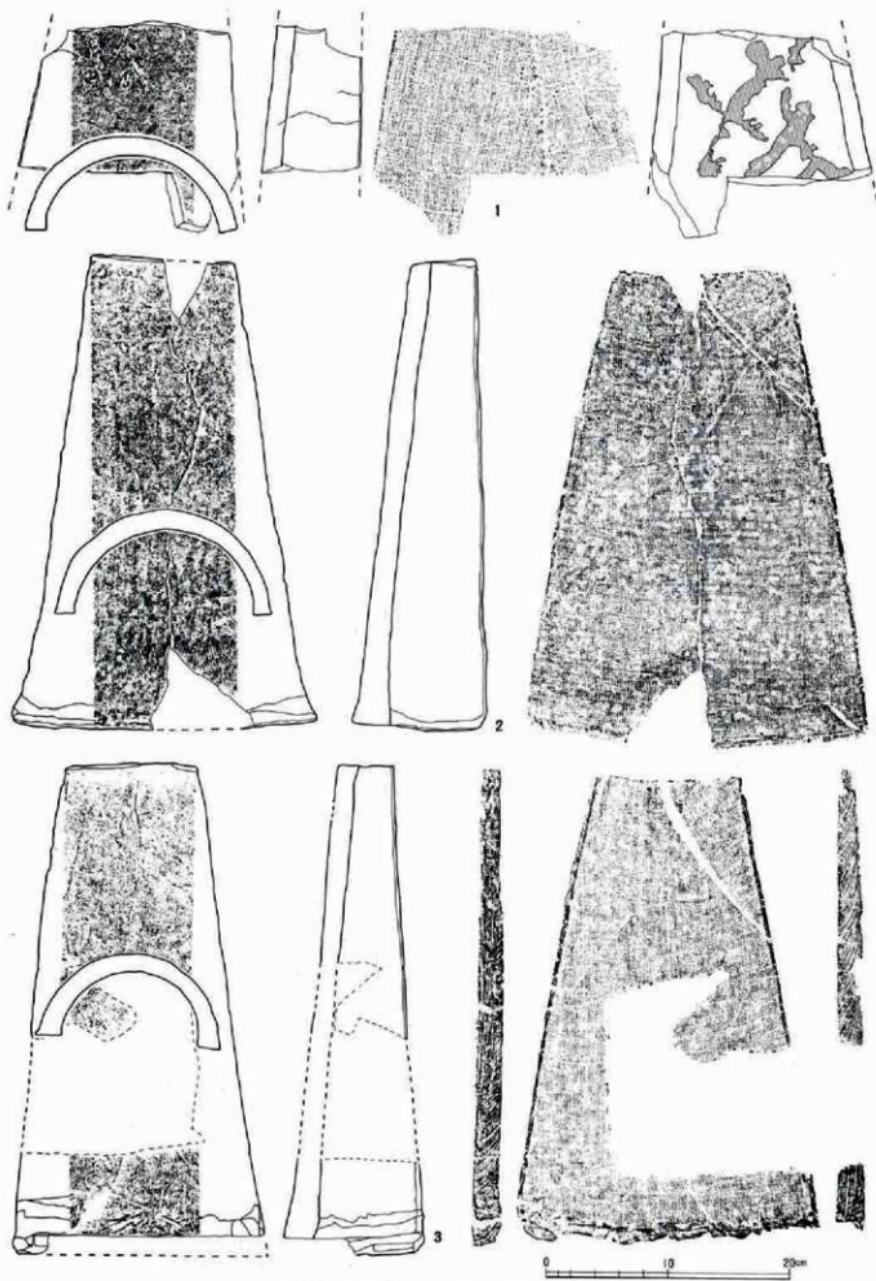
図面17 第31・32・41次調査出土遺物 1・2・8 第31次調査（SD23溝跡）
 6 第32次調査（表土）
 3・4・5・7 第41次調査（竪穴住居跡・表土）



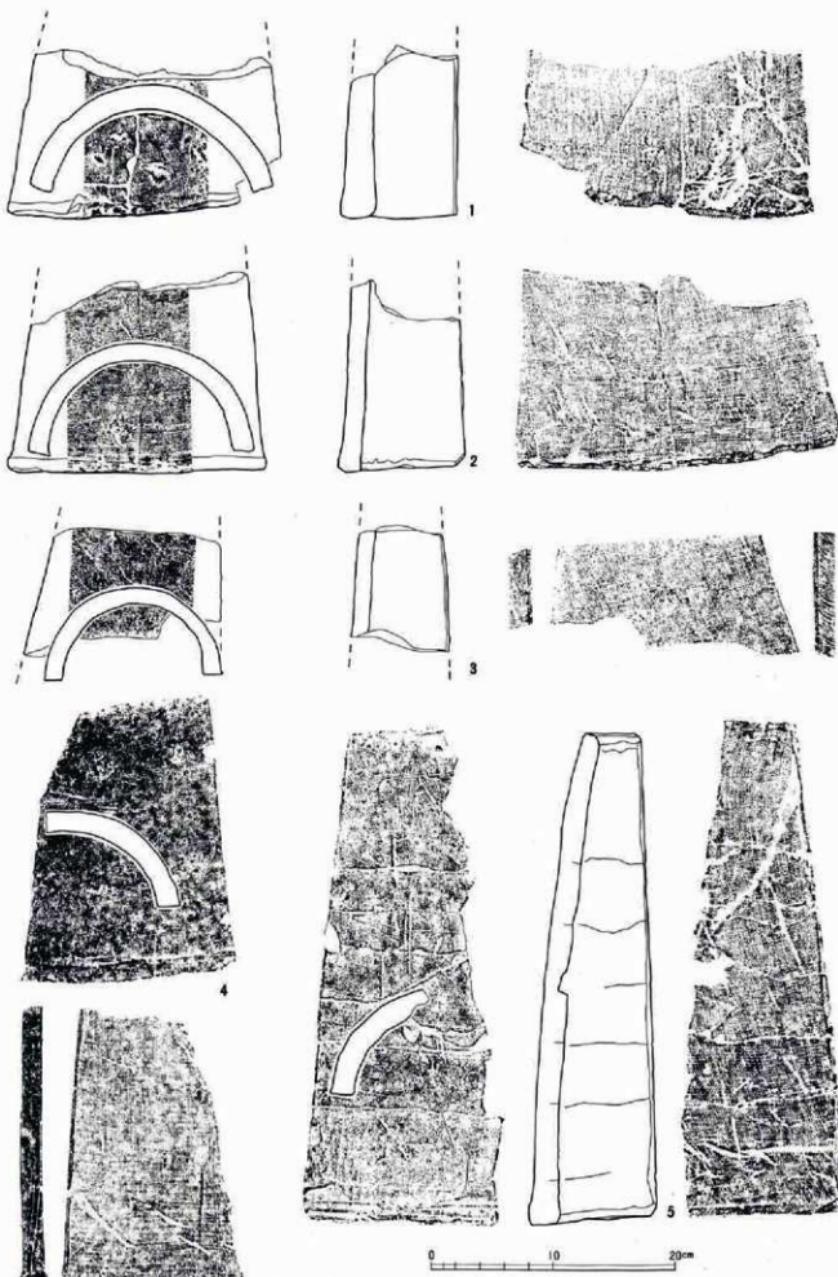
图面18 第42大調查 SI136住居跡、表土出土遺物
1~27 SI136住居跡、28 表土



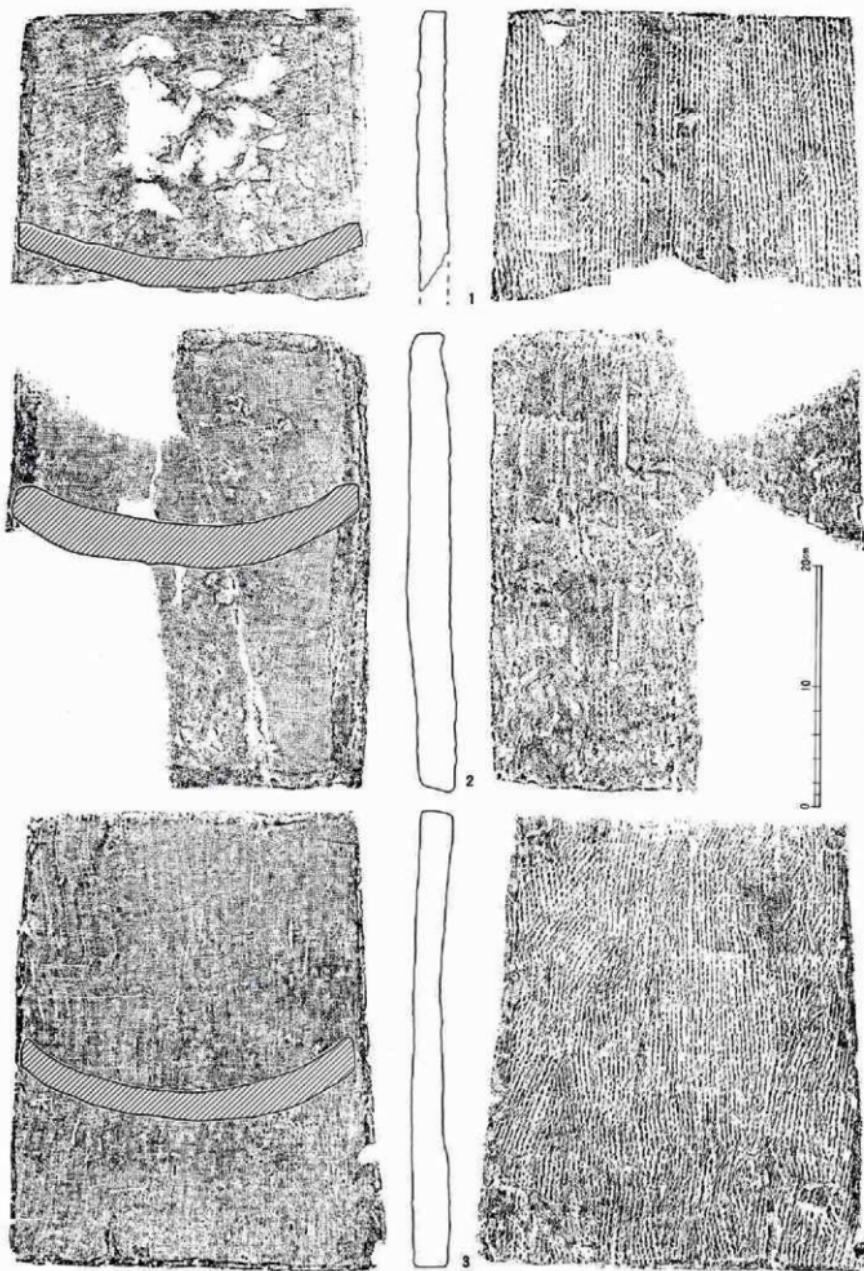
図面19 第42次調査 SI136住居跡出土遺物



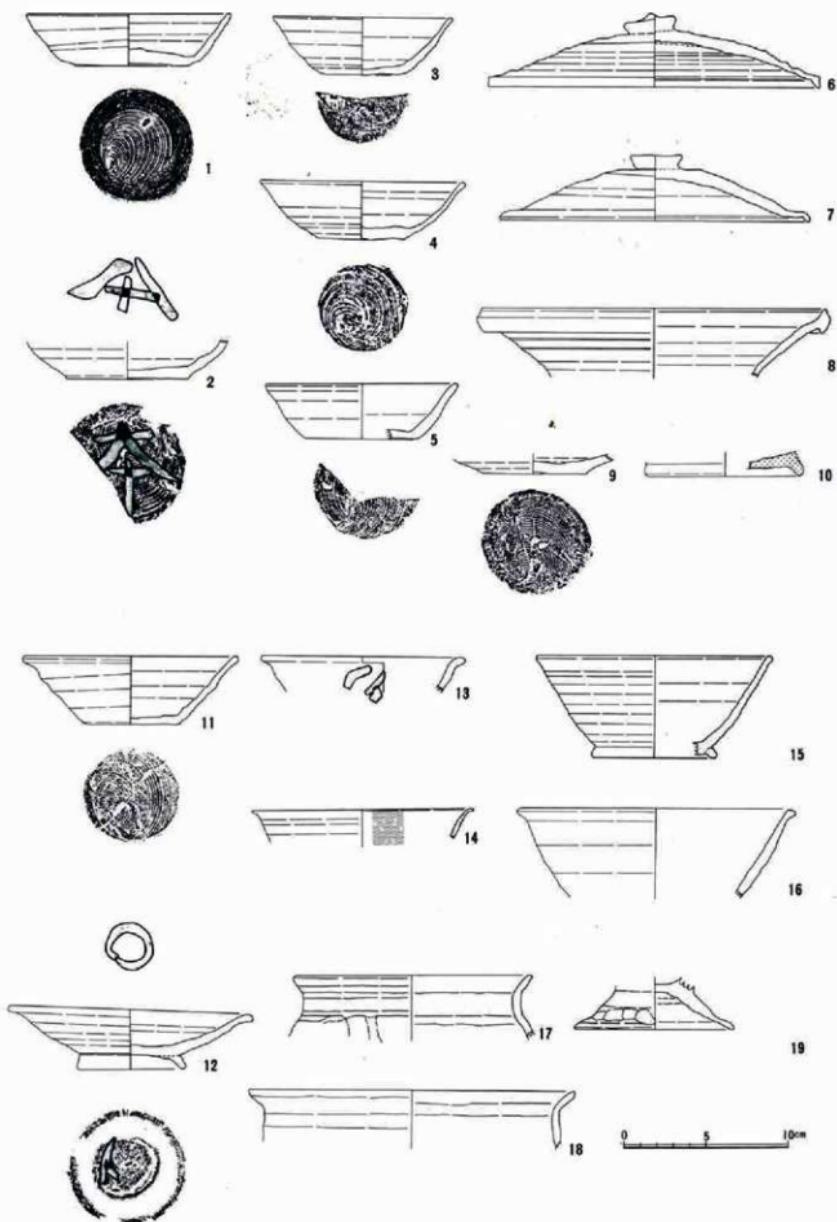
图面20 第42次調査 SI 136住居跡出土遺物



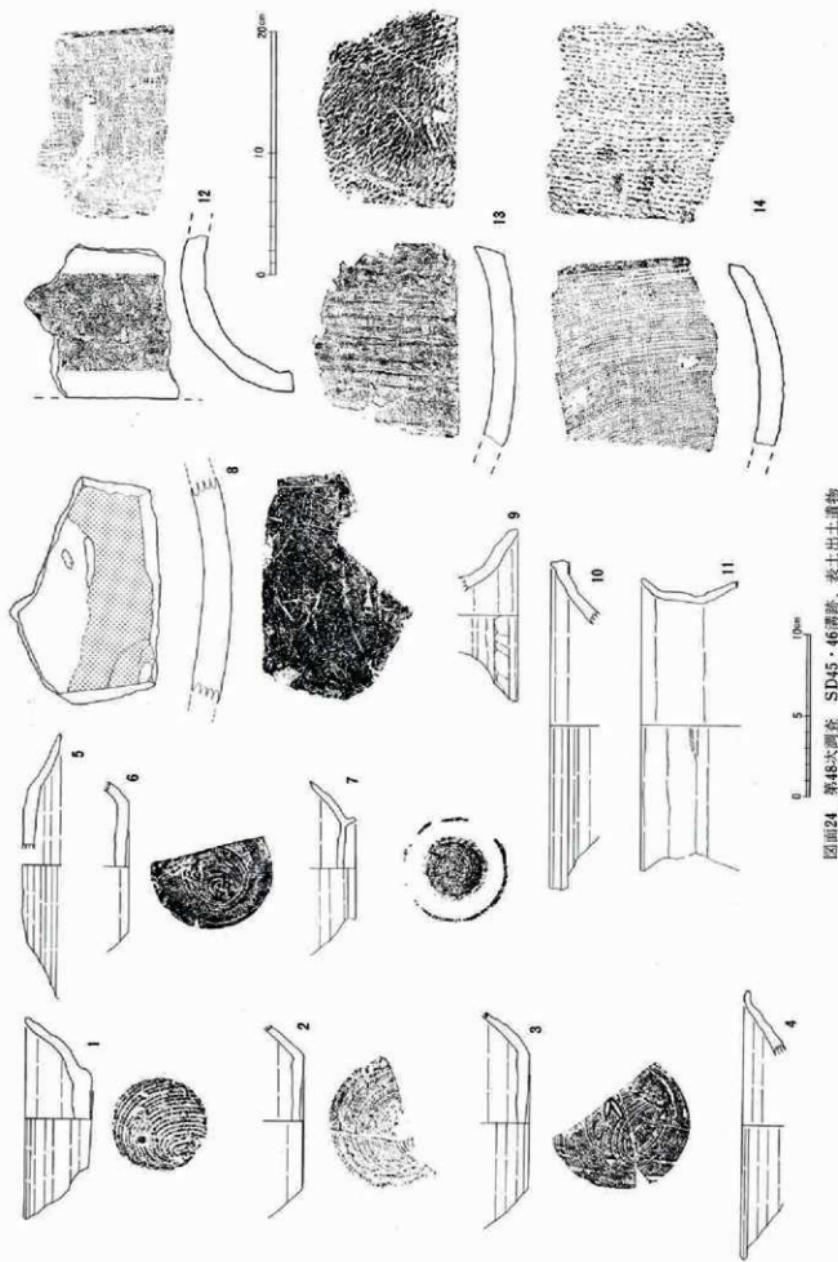
図面21 第42次調査 SI 136住居跡出土遺物



図面22 第42次調査 SI136住居跡出土遺物

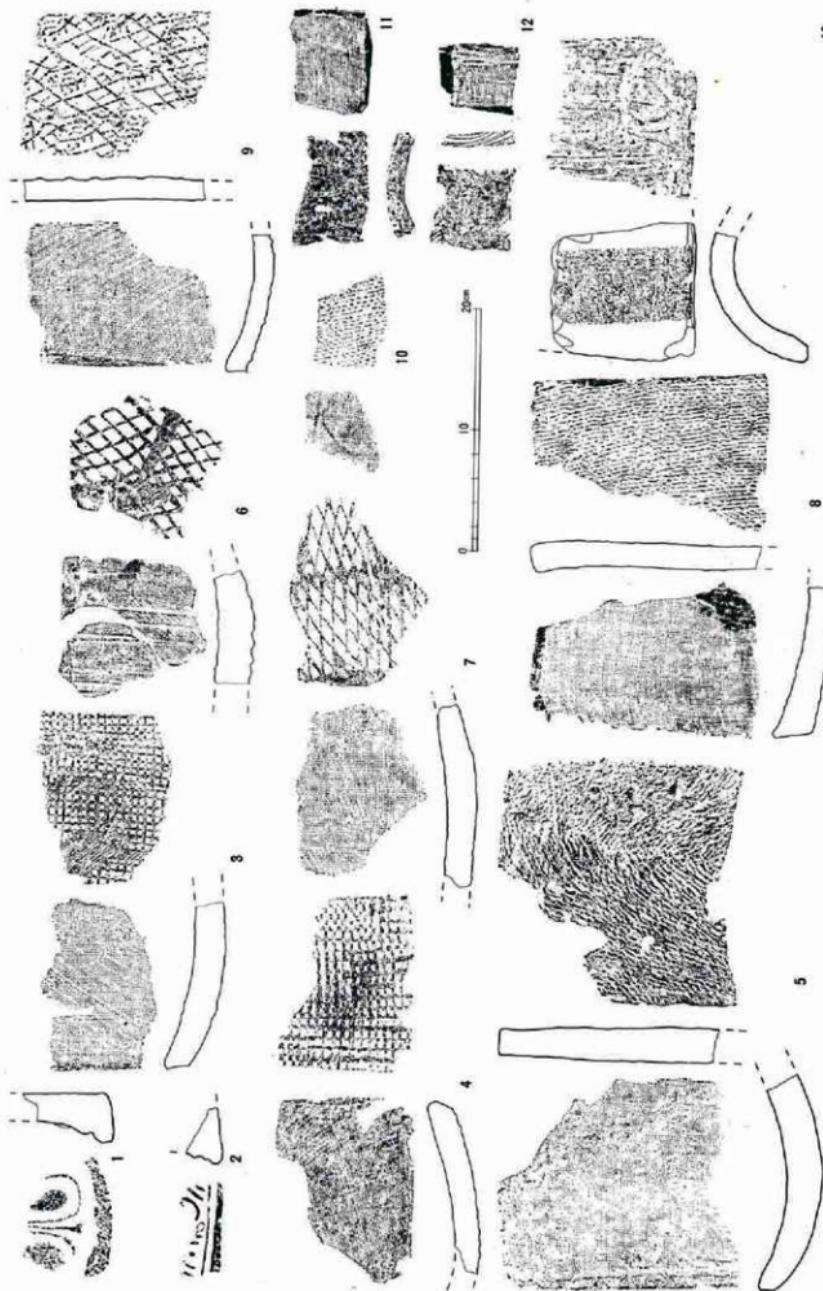


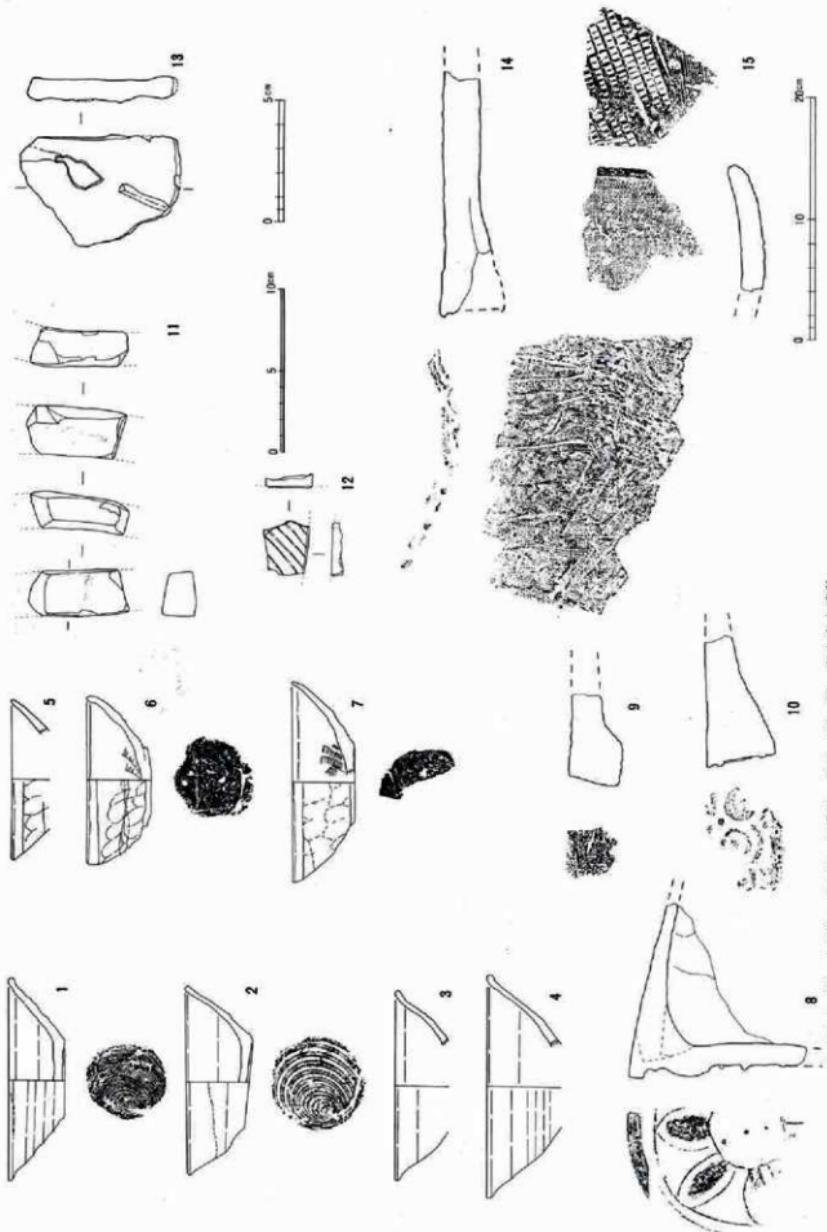
図面23 第48次調査 SD42・46溝跡、SI135住居跡出土遺物
1 SD42溝跡、2~10 SD46溝跡、11~19 SI135住居跡



图版24 第48次调查 SD45·46带绘、表土出土遗物
1~11 表土、12 SD45带绘、13·14 SD46带绘

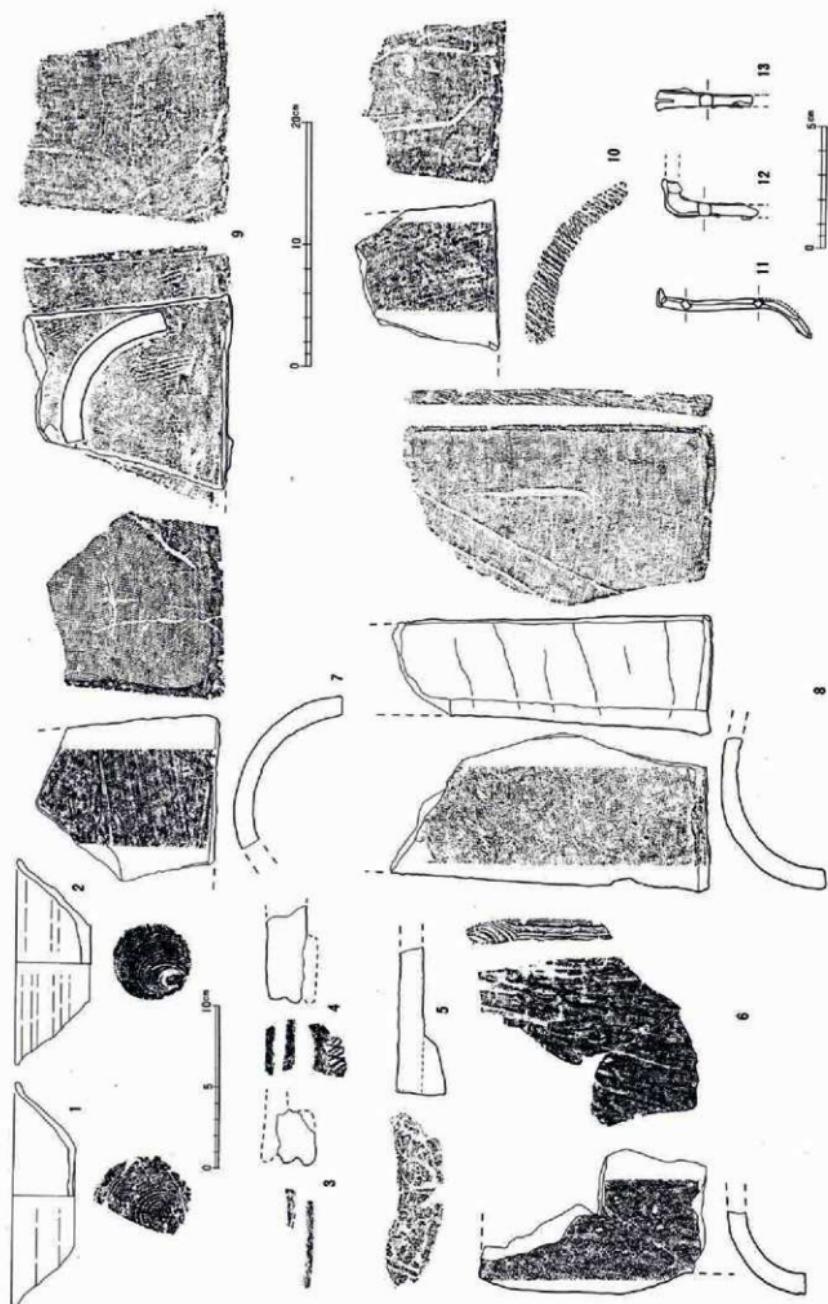
圖版25 第48次調查 表土出土遺物



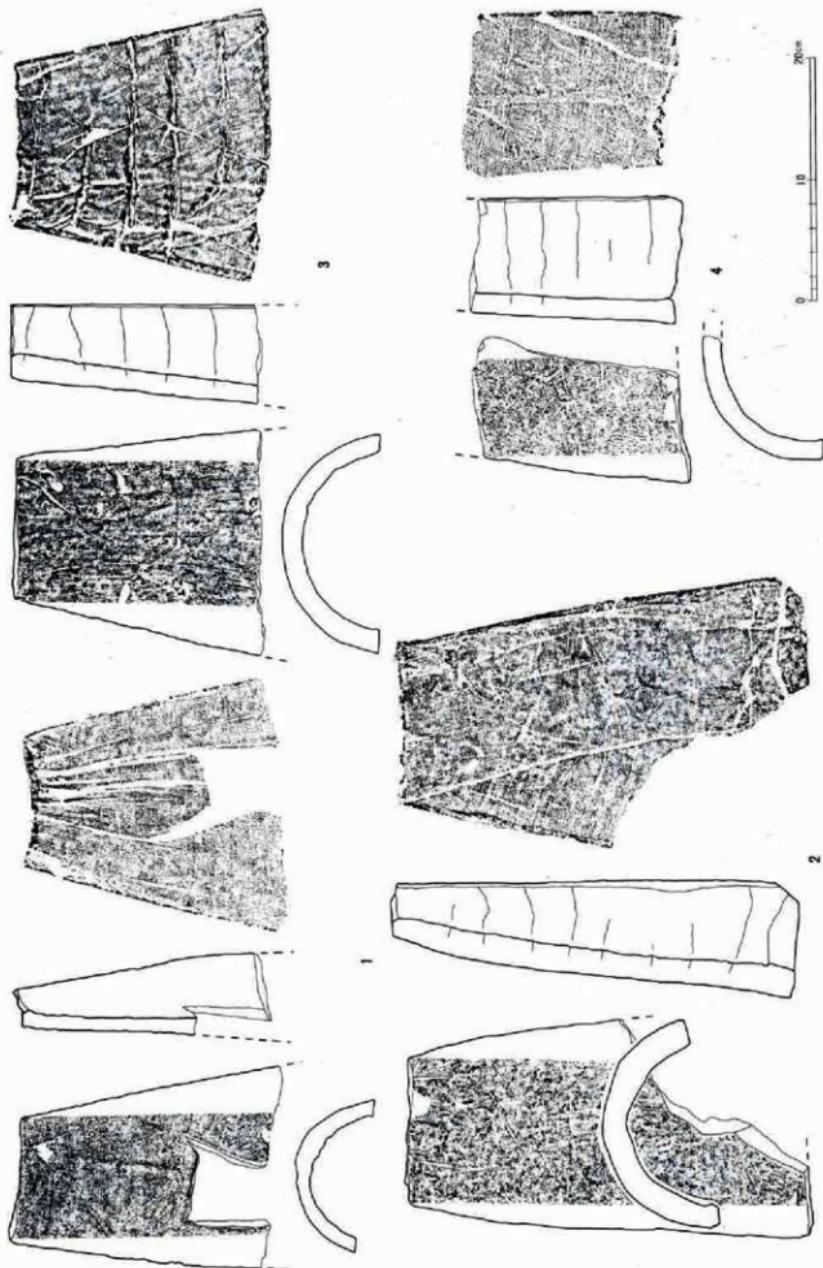


图面26 第44号墓 SD17-46椭形、P7·15·60、麦土出土遗物
1 P60、2~5·7·11~13·15 表土、6·9 SD46椭形、8 P7·10 P15、14 SD17椭形

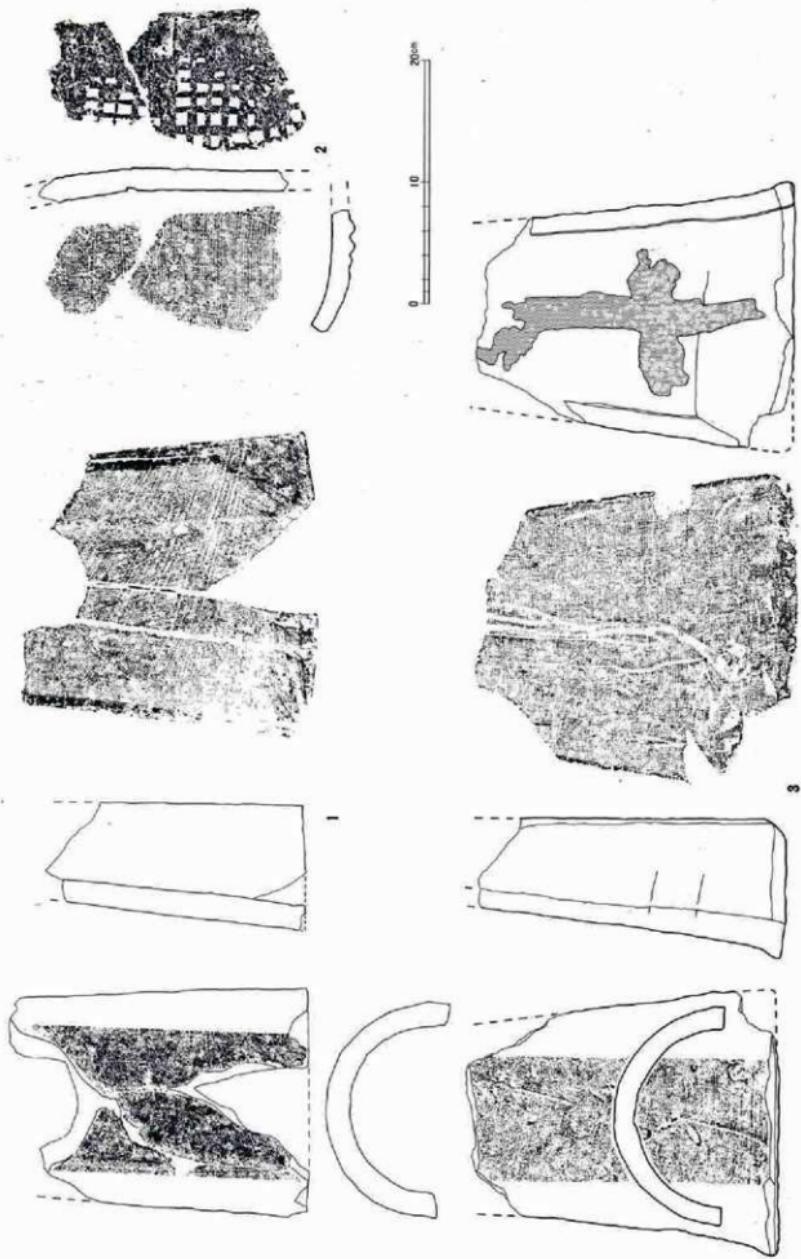
圖面27 第33次調查 A·B地區 SX3、表土出土遺物
 1·2 SX3(A地區)、3~10 A地區表土、11~13 B地區表土



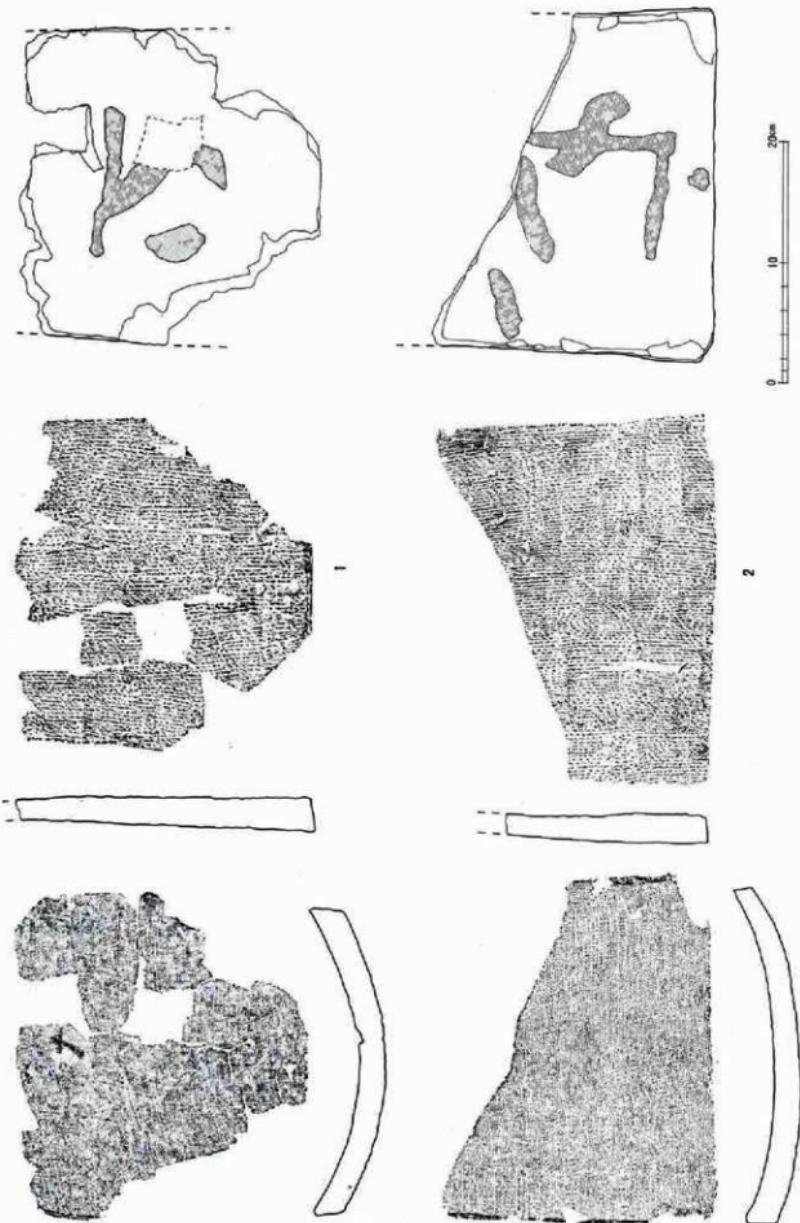
图面28 第33大调查 A地区表土出土遗物



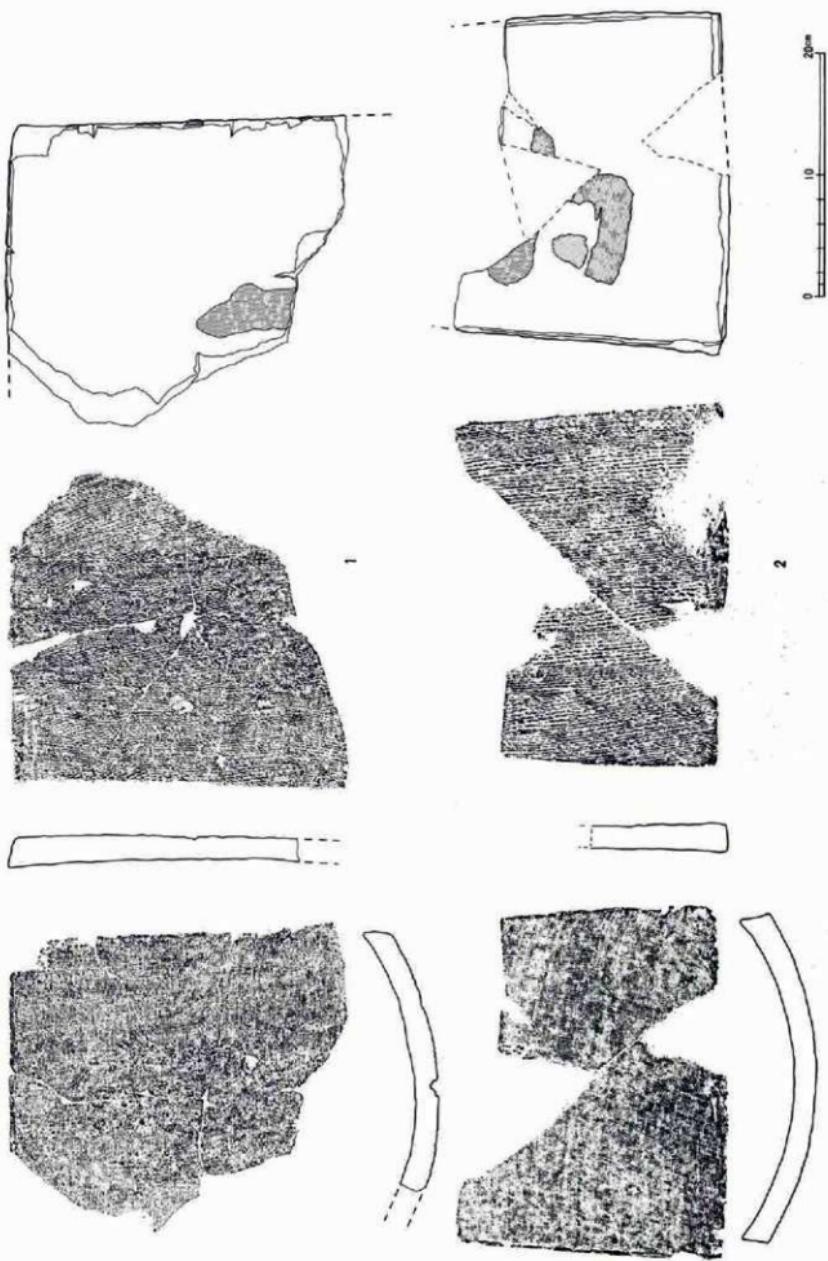
图面29 第33次調查 A地区表土出土遺物



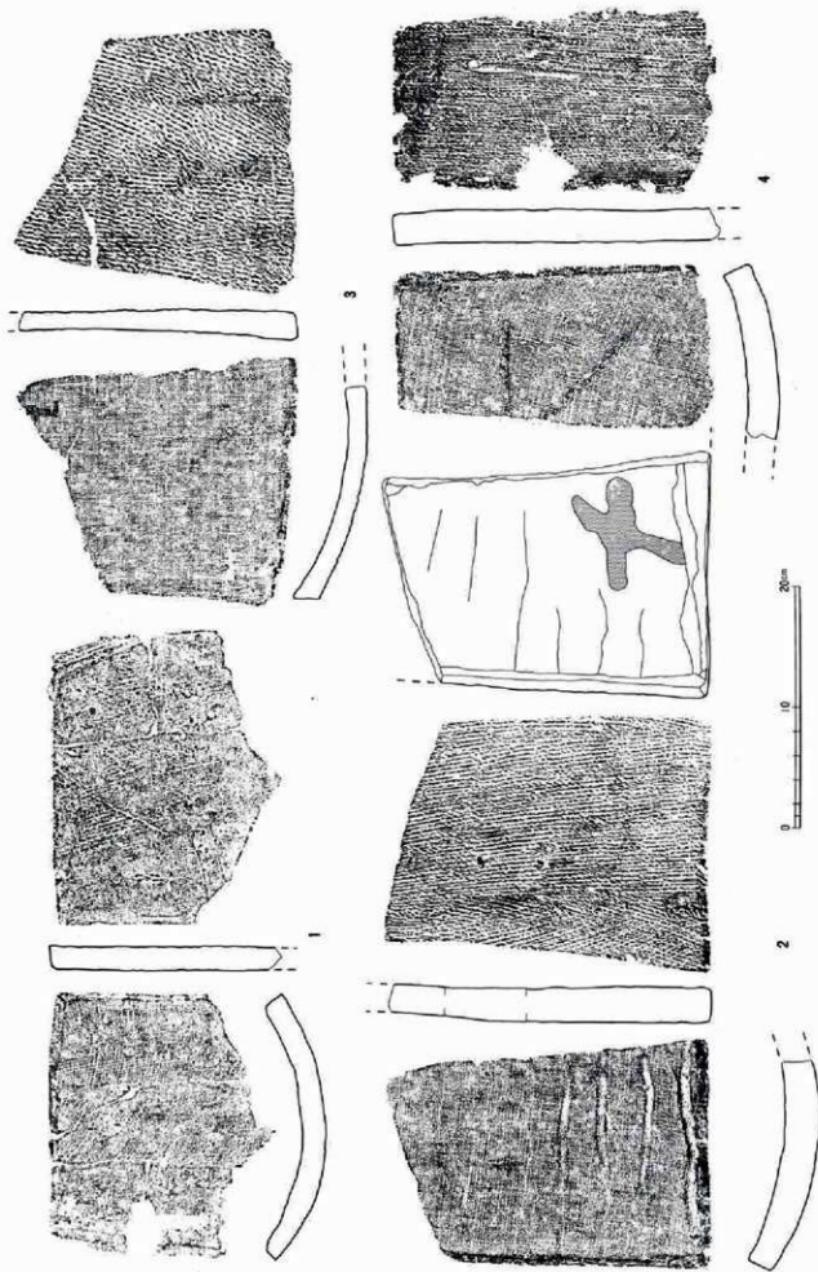
圖面30 第33次調查 A地區表土出土遺物



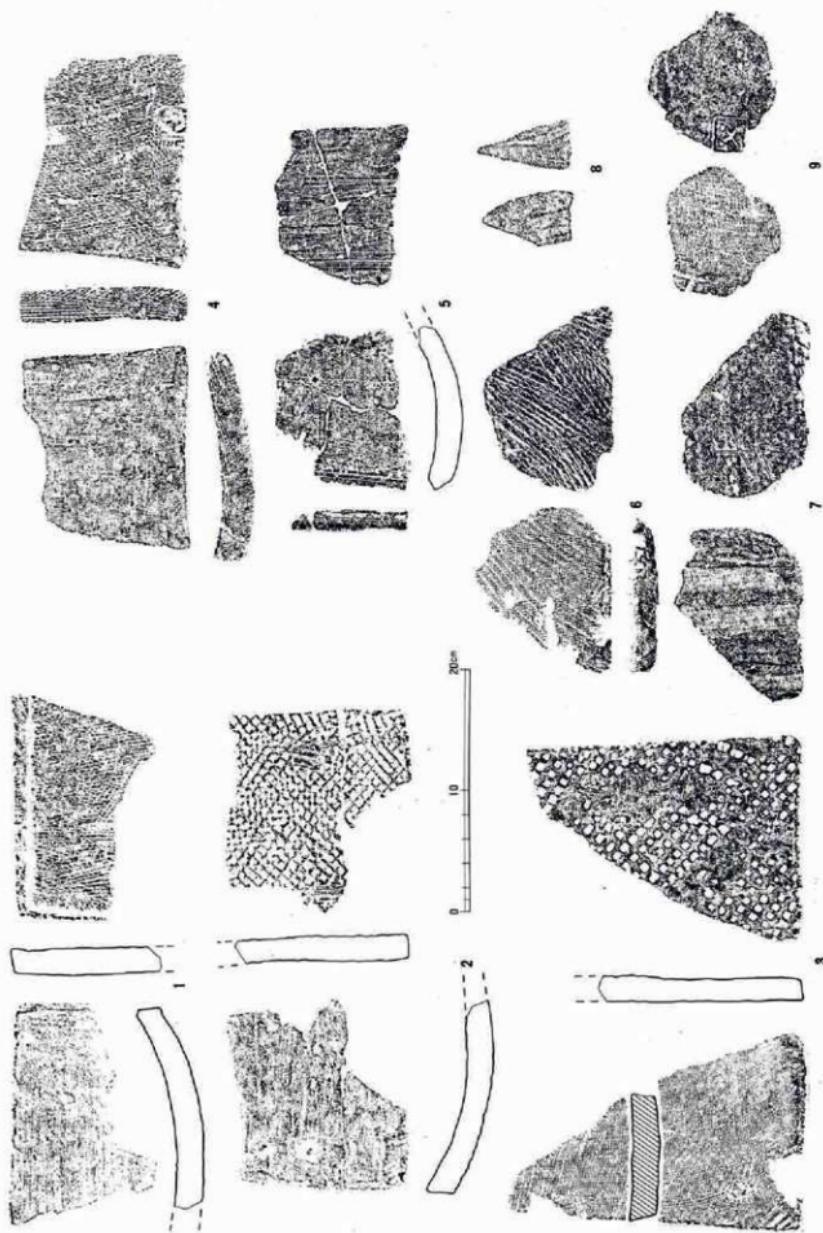
图面31 第33次調查 A 地區表土出土遺物



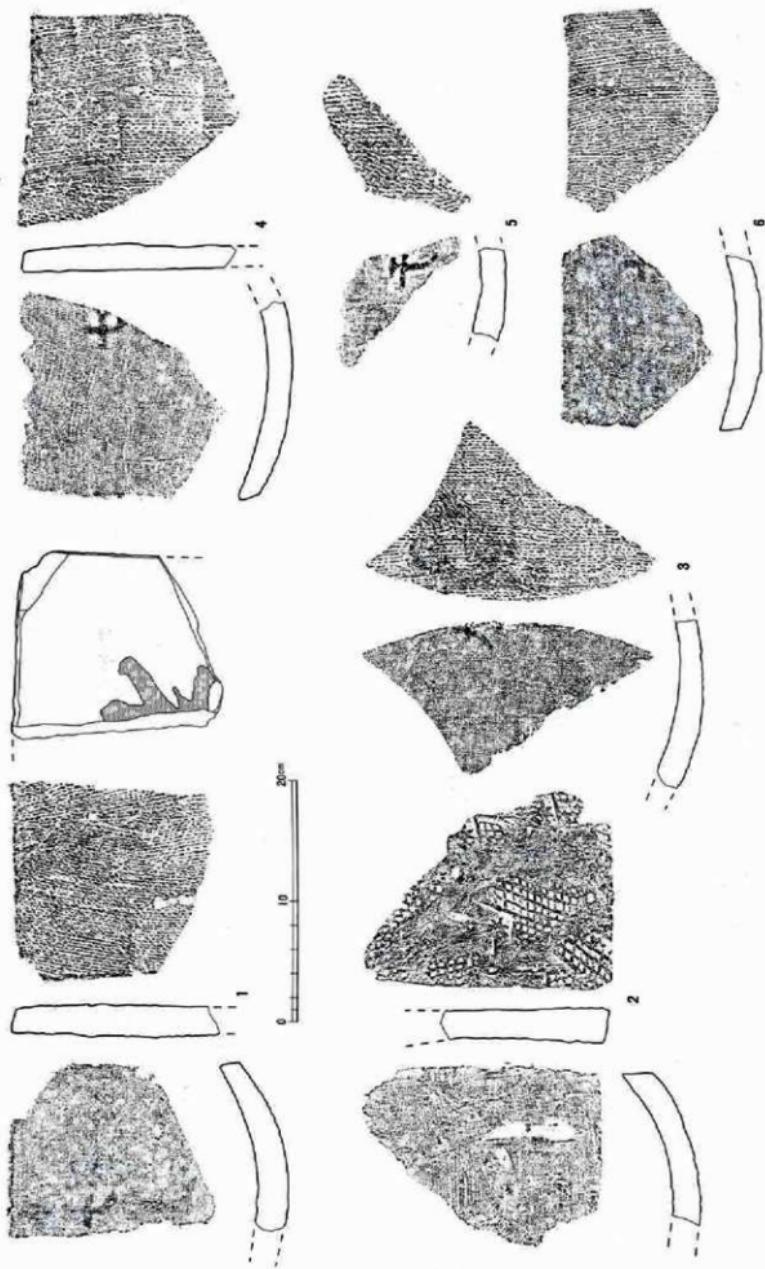
图面32 第33大調查 A 地區表土出土物

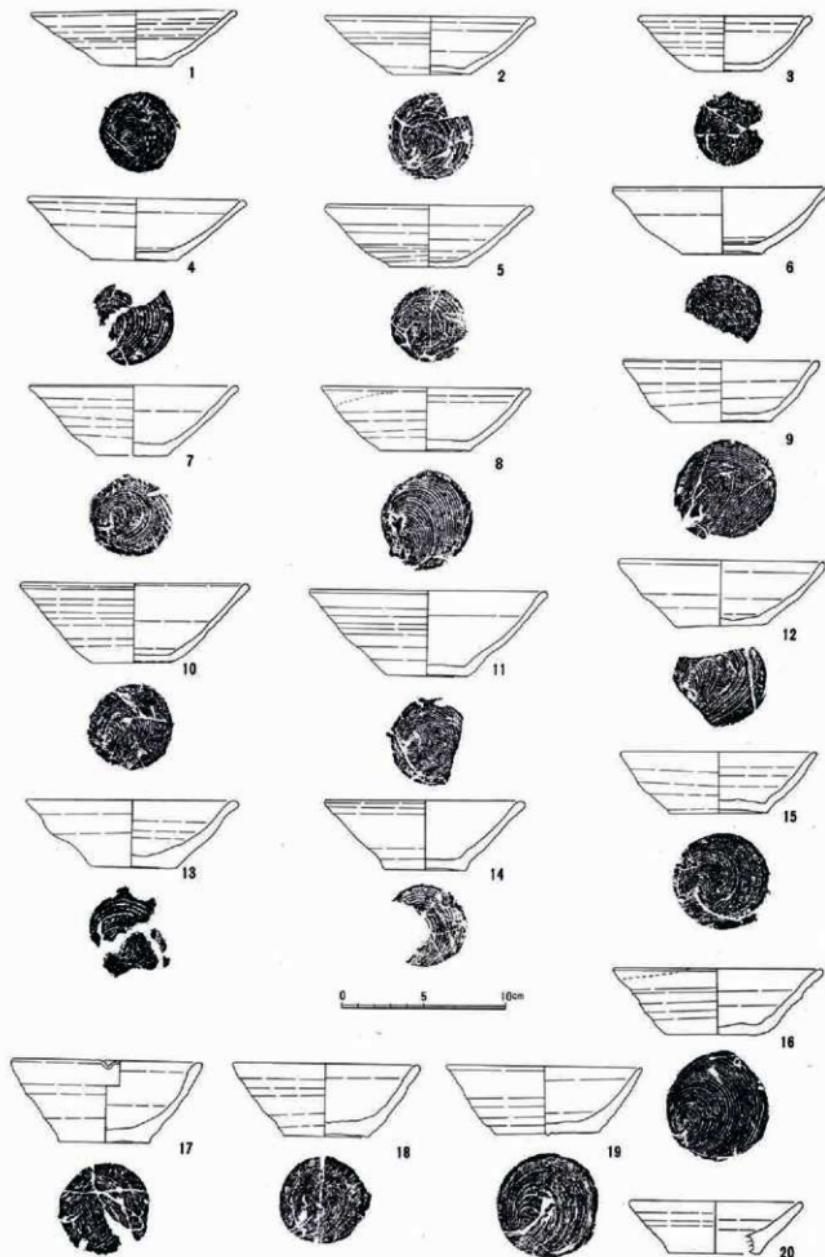


图面33 第33次调查 A地区表土出土遗物

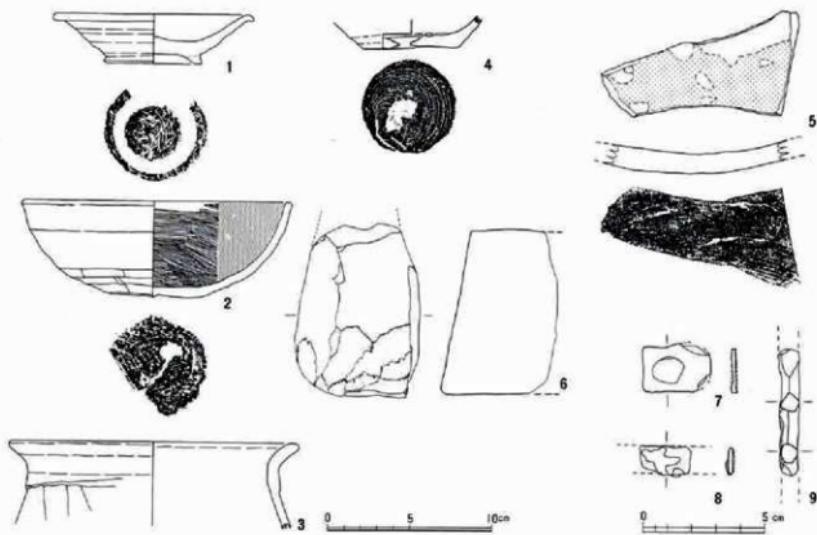


圖面34 第33次調查 A·B地區表土出土遺物
1~4·6 A地區、5 B地區





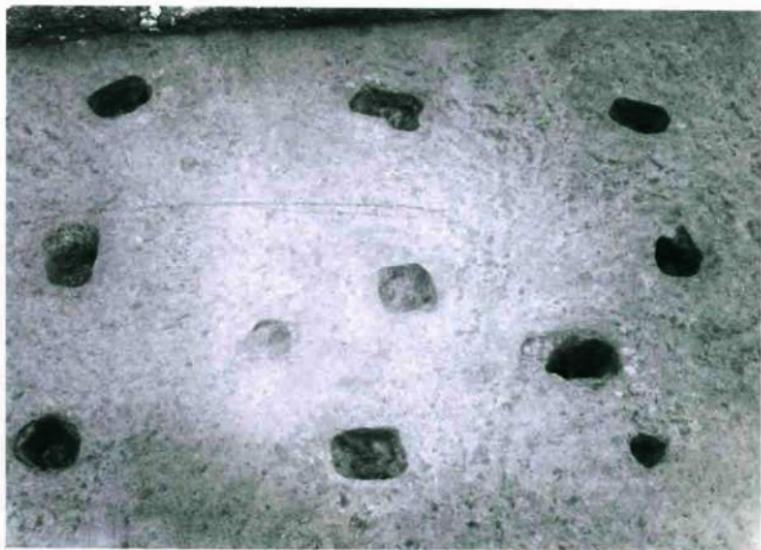
図面35 第30次調査 SD23溝跡出土遺物



図面36 第30次調査 SD23溝跡、表土出土遺物

1～6・10～13 SD23溝跡、7～9 表土

図 版



SB 42 捩立柱建物跡全景（北から）



SK 184 土坑全景（西から）

図版2 第42次調査A地区



SD 42 溝跡全景（東から）



SD 42 溝跡土層断面B～B'（西から）

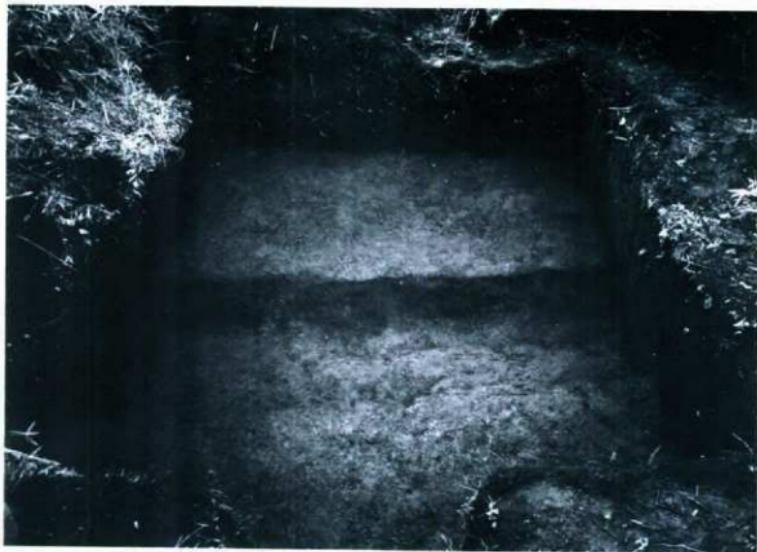


SI 136 住居跡全景（西から）



SI 136 カマド遺物出土状態（西から）

図版 4 第42次調査日地区



SD 42 溝跡全景（北から）



SD 42 溝跡土層断面D～D'（西から）



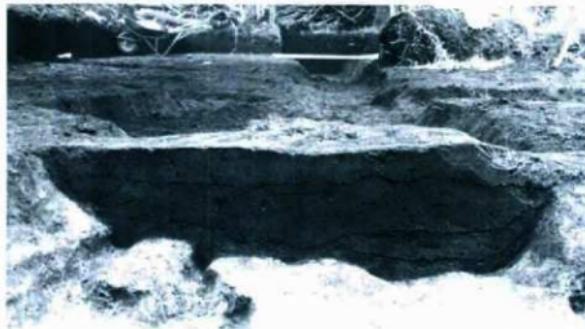
SI 135 住居跡全景（西から）



SD 42・45・46・50 溝跡 SK 206・207 土坑全景（北から）



SD 42 溝跡、SK 206 土坑全景（西から）



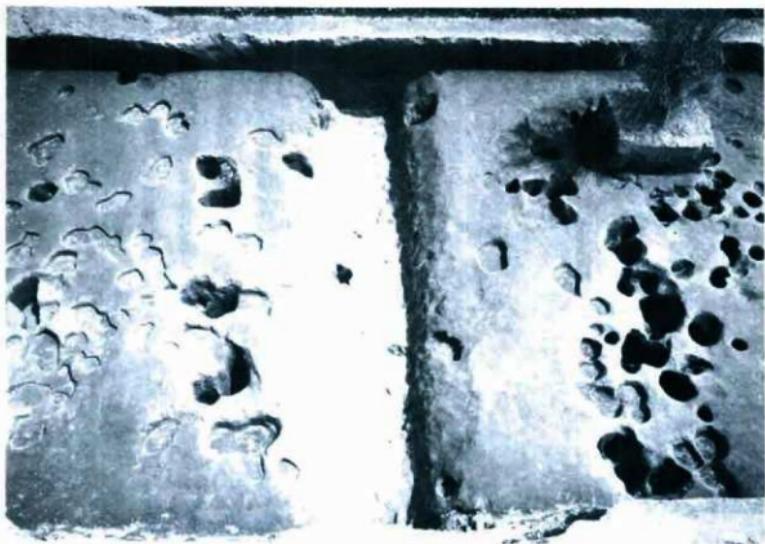
SD 42 溝跡土層断面A-A'（東から）



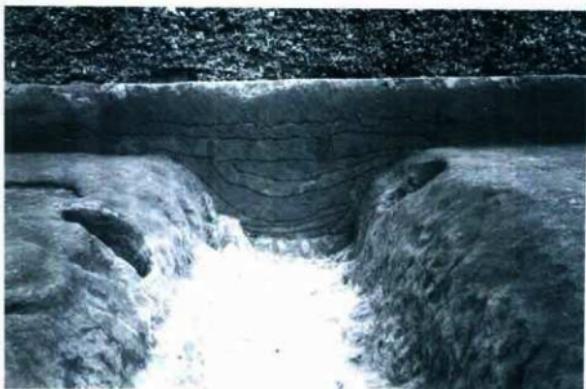
SD 45・46・50 溝跡、SK 219・225 土坑全景（南から）



SK 220 土坑全景（東から）



SD 17 溝跡全景（西から）



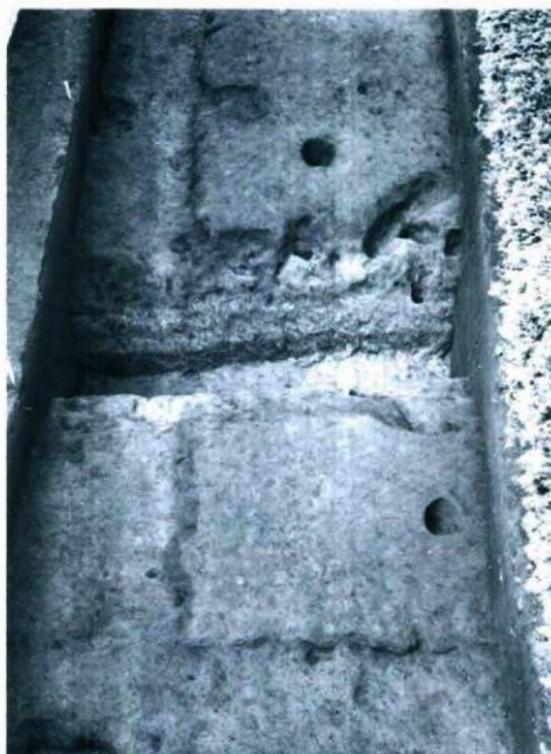
SD 17 溝跡土層断面B-B'（西から）



SD 49 溝跡全景（西から）



SD 49 溝跡土層断面 D-D'（西から）



SD 49・55・56 溝跡全景（東から）



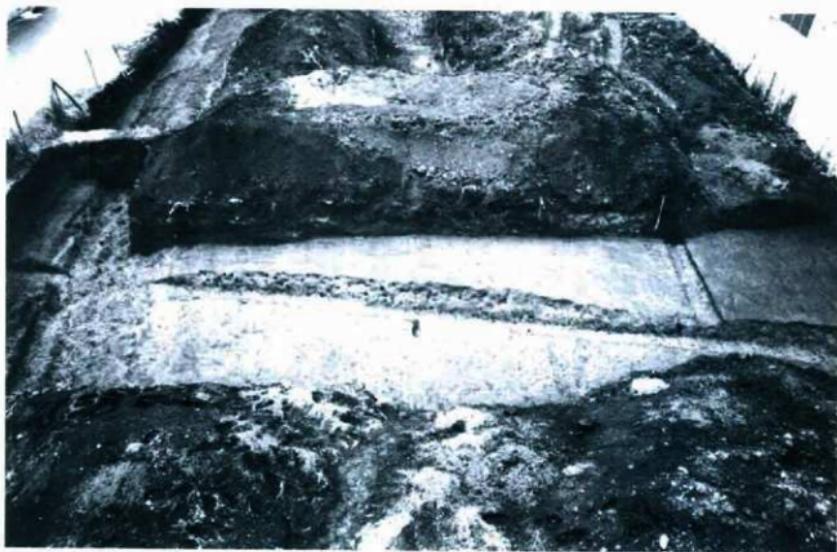
SD 49 溝跡土層断面B～B'（北から）



SD 54・55 溝跡全景（南から）



SD 54 溝跡土層断面A-A'（南から）



SD 18 溝跡全景（南から）



SD 18 溝跡全景（東から）



SD 18 溝跡土層断面A～A'（西から）



SD 18 溝跡土層断面B～B'（西から）



SD 18 溝跡土層断面C～C'（東から）



SD 17 溝跡全景（東から）



SD 17溝跡
土層断面A-A'（東から）



SD 23 溝跡全景（西から）



SD 23 溝跡土層断面A-A'（南から）



SD 23・63 溝跡全景（南から）



SD 23・63 溝跡全景（東から）



SD 63 溝跡全景（東から）



SD 63 溝跡土層断面C~C'（西から）



SD 23 溝跡全景（東から）



SD 23 溝跡土層断面A ~A'（南から）



SD 23 溝跡全景（北から）



SD 23 溝跡土層断面A-A'（東から）



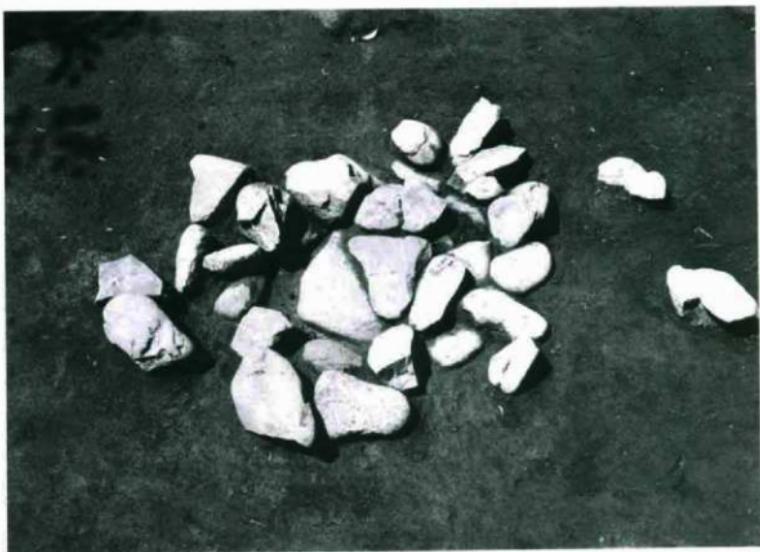
SD 23 溝跡全景（北から）



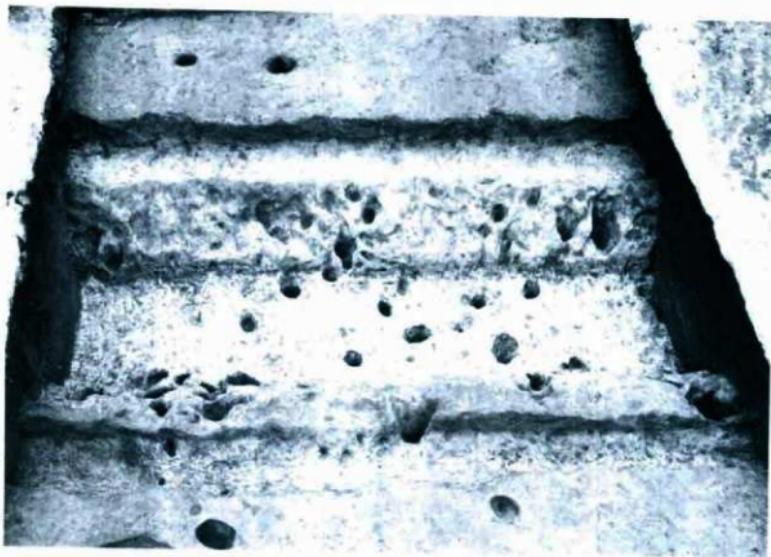
SD 23 溝跡土層断面A-A'（東から）



A地区 SX 3 全景（北から）



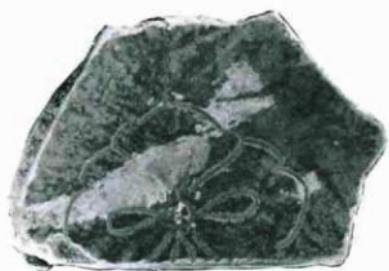
B地区 SS 20 集石全景（東から）



SD 23 溝跡全景 (北から)



SD 23 溝跡土層断面B-B' (西から)



17-2



17-3



17-8

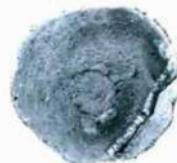


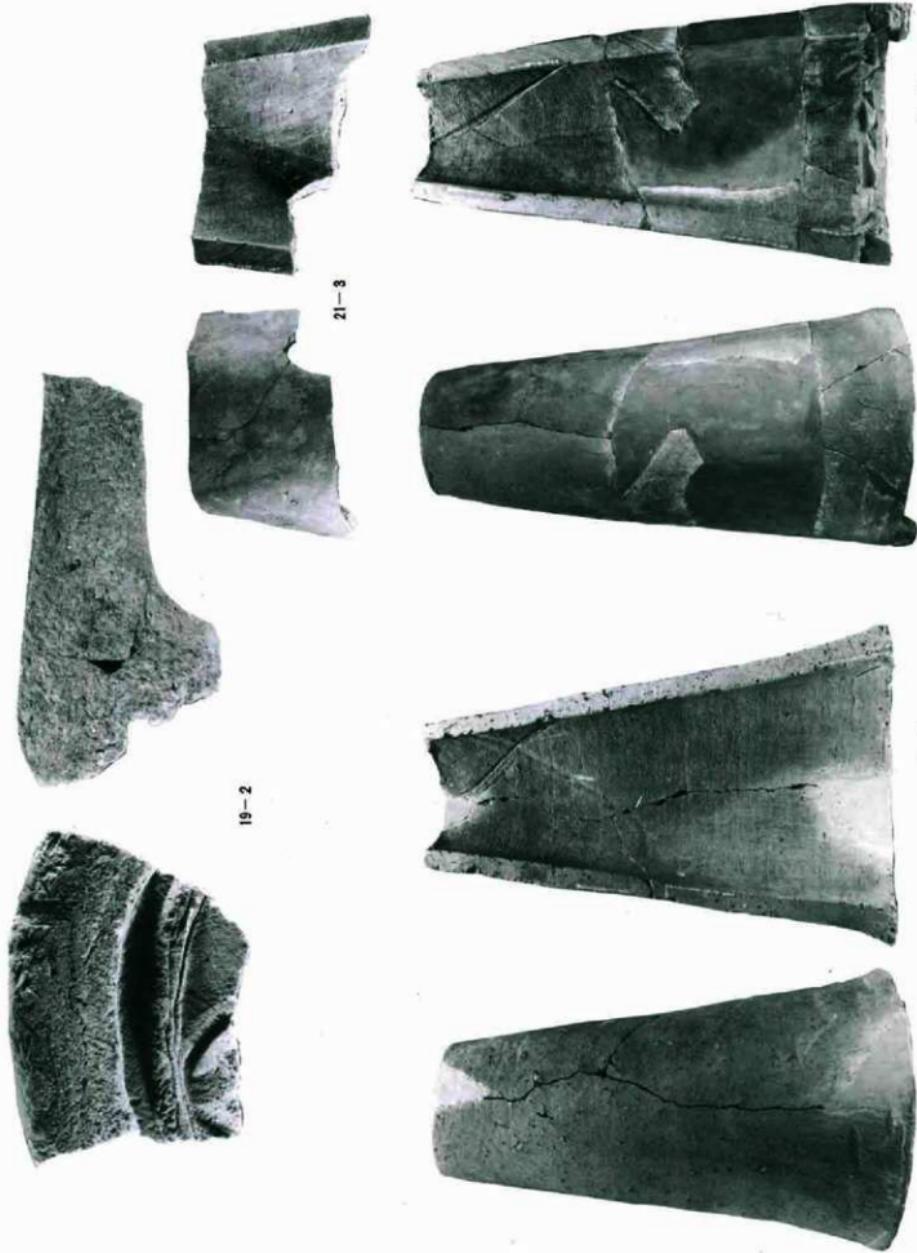
17-6



17-7

図版24 第42次調査出土遺物







19-6



19-7



22-1



22-1



22-2

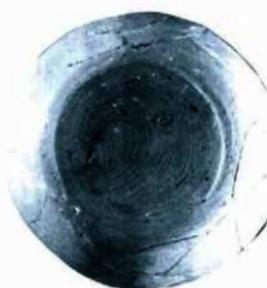
図版28 第48次調査出土遺物



23-1



23-7



23-6



23-11



23-3



23-12



23-5



25-1



25-2



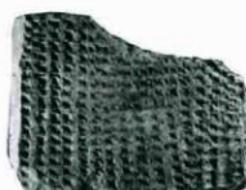
25-11



25-12



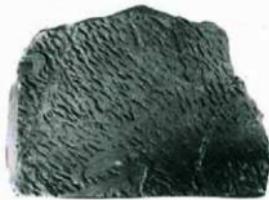
図版29 第48次調査出土遺物



25-4



25-9



24-13



25-5

図版30 第44次調査出土遺物



26-1



26-6



26-2



26-9



26-8



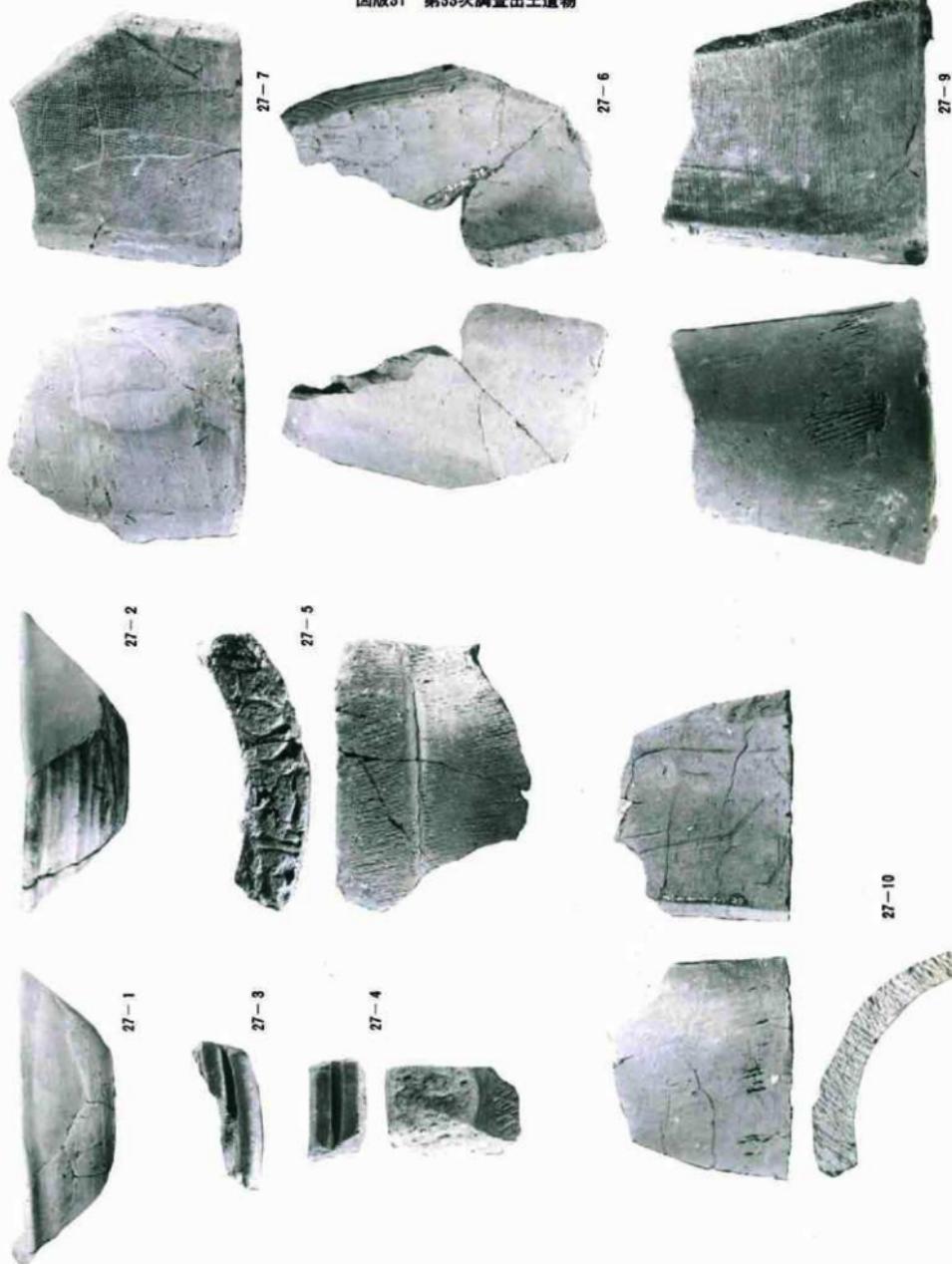
26-10



26-14

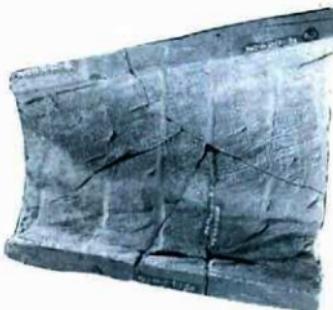


図版31 第33次調査出土遺物



図版32 第33次調査出土遺物

28-3



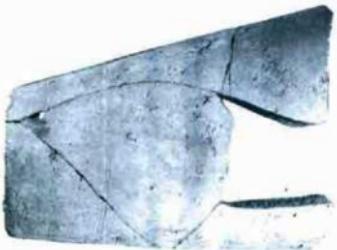
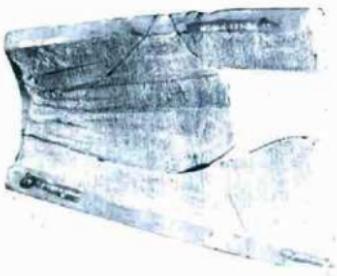
28-4



28-2



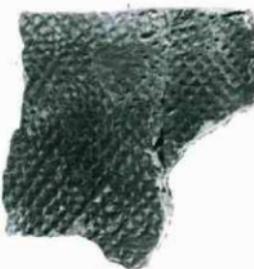
28-1



図版33 第33次調査出土遺物



29-1



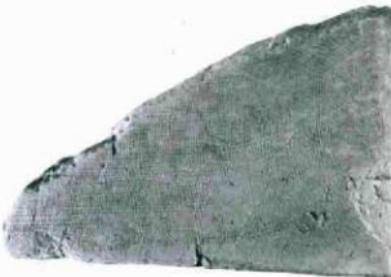
33-2



29-3

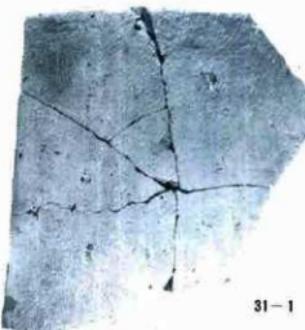


33-3

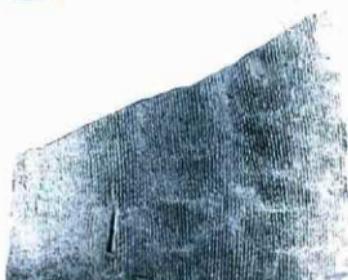




30-1



31-1

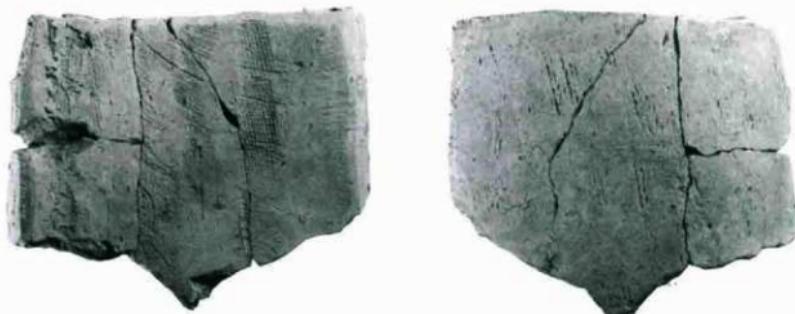


30-2

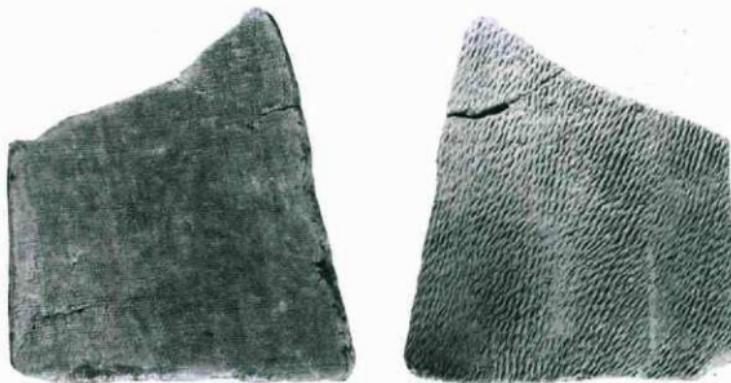


31-2

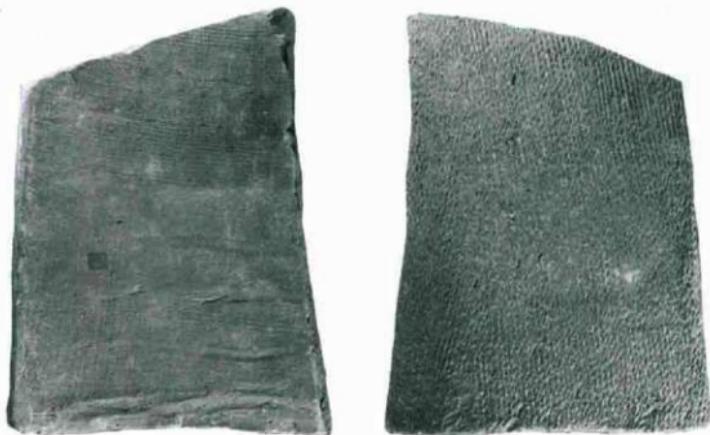
図版35 第33次調査出土遺物



32-1



32-3

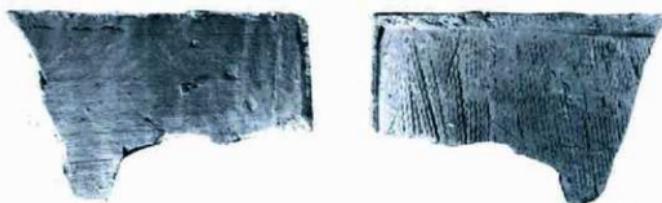


32-2

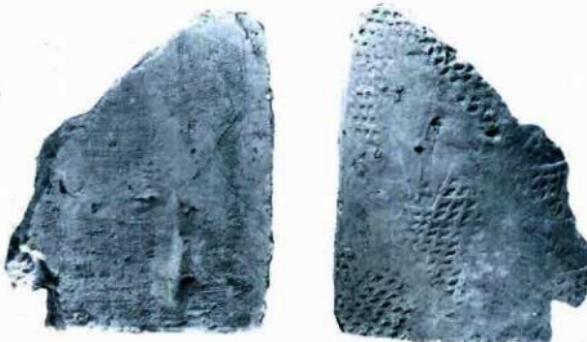
圖版36 第33次調查出土遺物



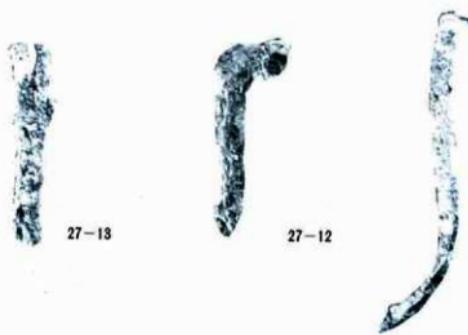
33-5



33-1



34-2



27-13

27-12

27-11

図版37 第30次調査出土遺物



35-1



36-10



35-4



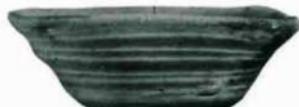
36-6



35-2



35-9



35-16



35-6



35-14



36-2



35-17



36-1

図版38 第30次調査出土遺物



35-13



35-15



35-7



36-1



35-8



35-3



36-11



36-12



36-13



23-2 内面



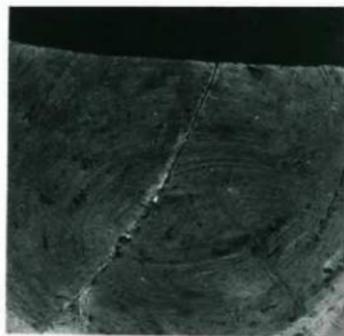
23-2 外面



23-12 内面



23-12 外面



24-3

図版40 横骨・押印文字集成



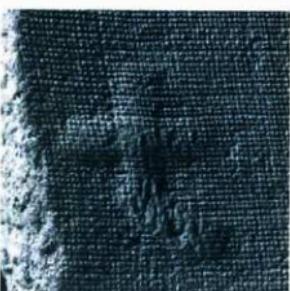
34-5



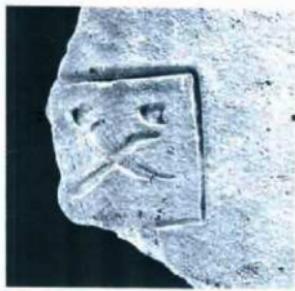
34-6



34-3



34-1



33-9



19-8

図版41 ヘラ書き文字集成



33-7



28-4



33-8

武藏国分寺遺跡調査会年報II
昭和51～53年度 寺地・僧寺々域確認調査 第2分冊

昭和57年3月31日
編著 武藏国分寺遺跡調査団
（團長 滝口 宏）
発行 武藏国分寺遺跡調査会
東京都国分寺市教育委員会
印刷 倸陽堂印刷株式会社

令和4年(2022)8月25日 デジタル版作成